

3 学習活動に対する負担額

問13 あなたは、学習・文化・スポーツ・レクリエーションなどの活動に、どのくらいまで自己負担してもよいと思いますか。

1ヶ月平均… 円

生涯学習活動の費用負担をみると、一人当たりの月平均6,475円まで負担が可能であると考えられる。これを年間で算出すると、一人当たり年間負担額は、77,700円になる。

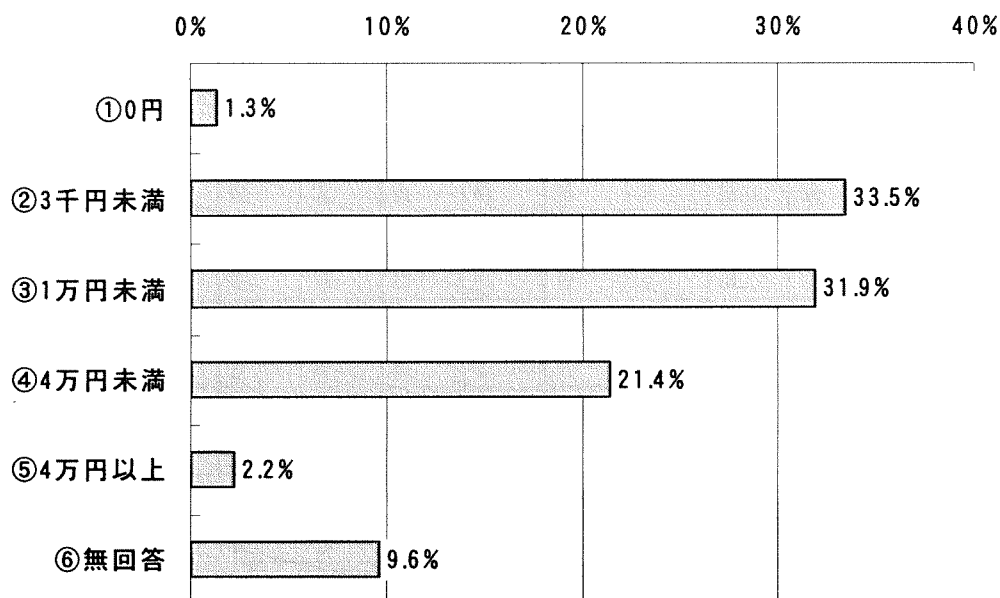
前回調査によると、生涯学習活動の自己負担費は、一人当たり月平均6,420円であり、今回では55円増加している。

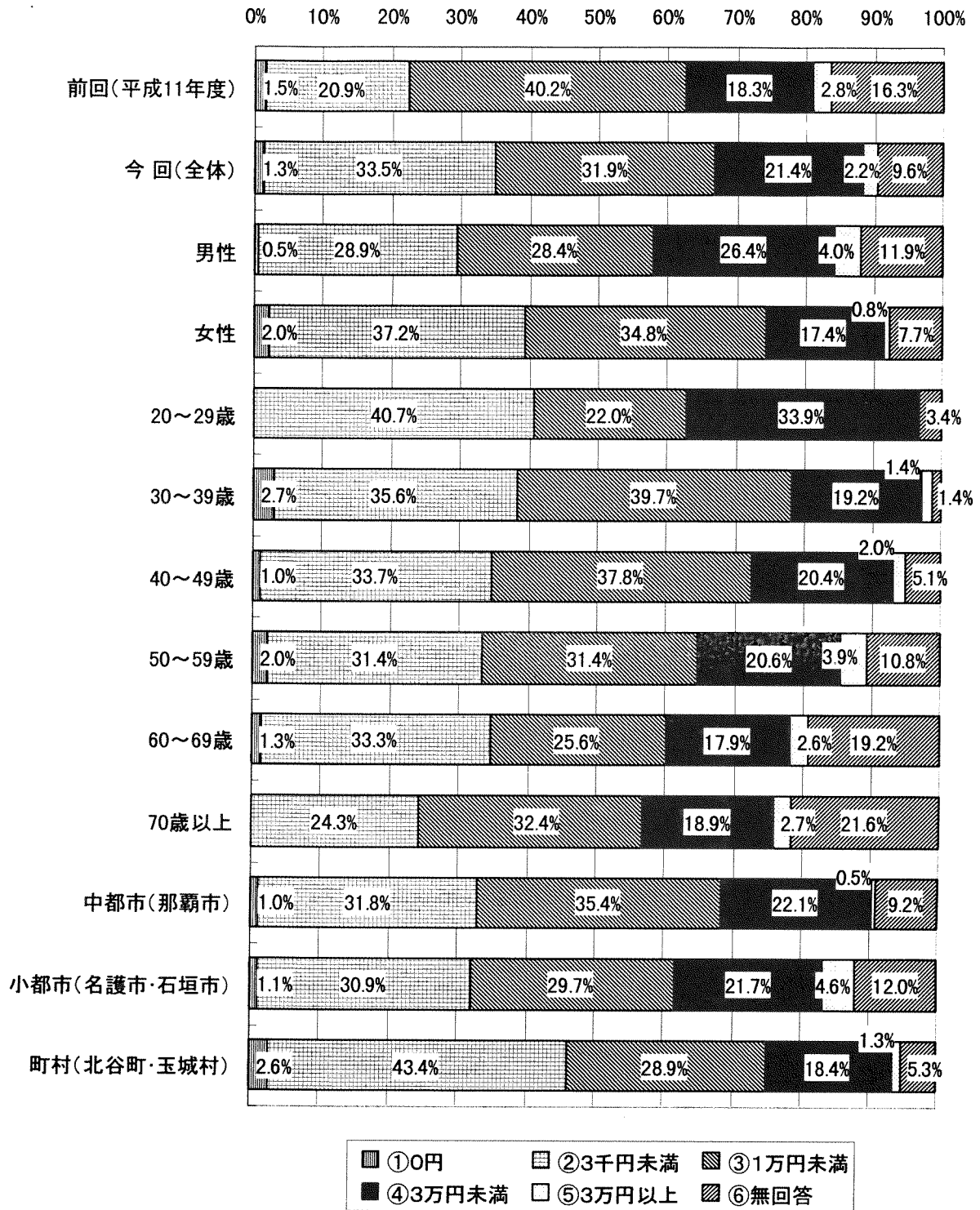
1ヶ月当たりの自己負担限界額を段階別にみると、「1円以上3千円未満」が33.5%で最も高く、「3千円以上1万円未満」が31.9%、「1万円以上3万円未満」が21.4%であり、「0円」は1.3%である。

男女別にみると、男性7,618円、女性5,588円と男性の方が学習活動に2,030円多く負担する傾向にあることがわかる。

年齢別にみると、50歳代で6,960円と最も高く、60歳代以上は6,500円前後の負担限界額となっている。30歳代で5,659円と最も低い。

居住地別にみると、小都市で7,655円と最も高く、次に中都市で6,045円、町村で5,021円となっており、自治体の規模に比例して負担限界が大きくなっている。





4 学習活動に要する自由時間

問 14 自分が自由に使える時間（通勤・通学・家事・食事・睡眠などを除いた、自分が好きに使える時間）はどれくらいありますか。

a. 平日の場合…

b. 休日の場合…

(1) 平日の自由時間

県民の自由時間の平均は、平日で3.1時間（3時間06分）、休日で5.4時間（5時間24分）となっている。

前回調査と比較すると、前回調査では平日2.9時間（2時間54分）、休日5.2（5時間12分）であり、平日・休日ともに12分増えている。

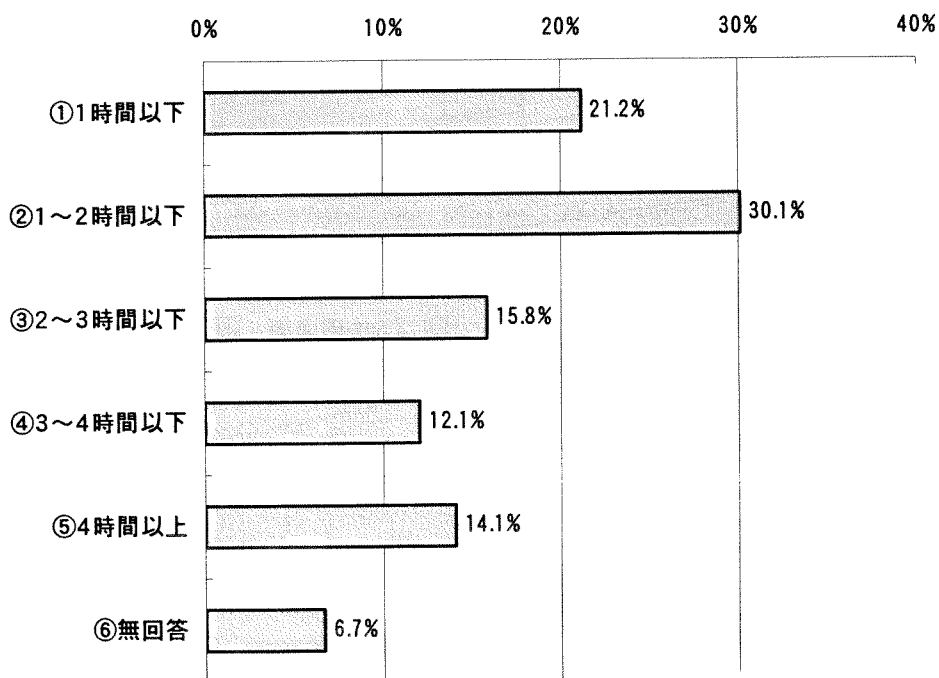
	今回の調査（平均）	前回の調査（平均）
平日の自由時間	3時間06分	2時間54分
休日の自由時間	5時間24分	5時間12分

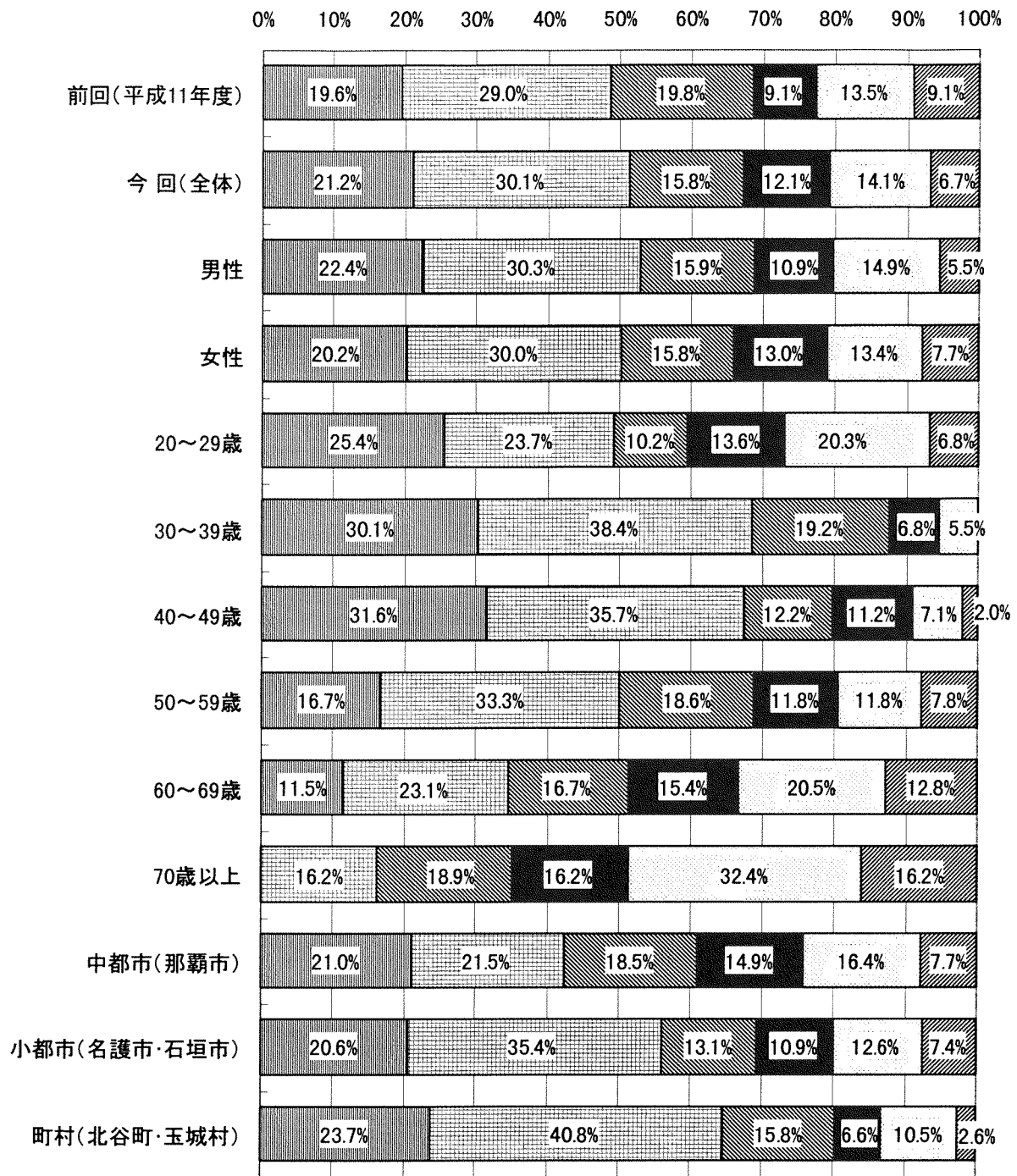
男女別にみると、男性3.2時間（3時間12分）、女性3.0時間（3時間00分）であり、女性は男性より平日の自由時間が12分少ない。女性は家事や育児等の時間のため自由時間が少なくなっていることがうかがえる。

年齢別にみると、70歳以上の5.2時間（5時間12分）が最も長く、30歳代2.2時間（2時間12分）、40歳代2.5時間（2時間30分）、30歳代、40歳代の自由時間が少ない。

5年前と比較すると自由時間は増えているものの、移動時間などを考慮するとまだまだ厳しい状況がうかがえる。30歳代の県民の自由時間の確保が厳しい状況にあることが示されている。

【a. 平日】





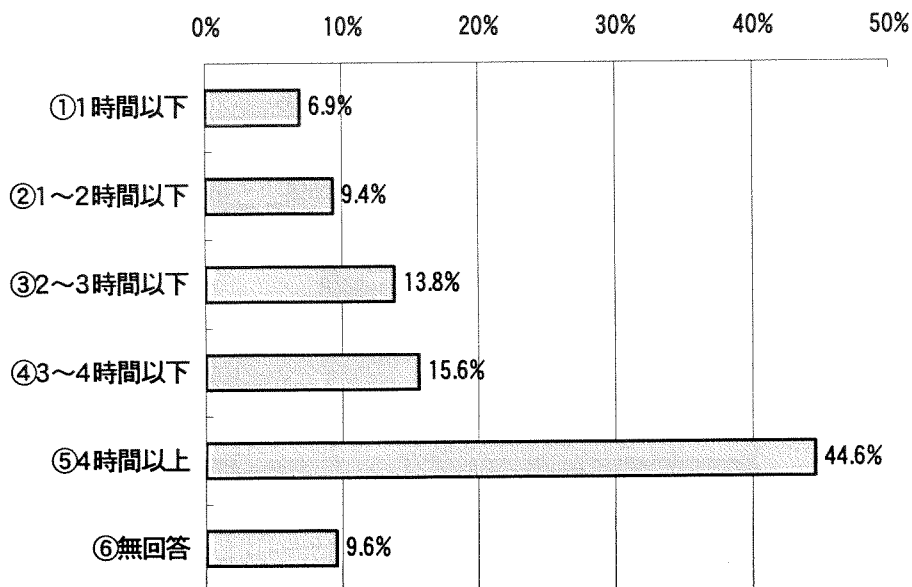
■ ①1時間以下 ▨ ②1～2時間以下 ▩ ③2～3時間以下
 ■ ④3～4時間以下 □ ⑤4時間以上 ▩ ⑥無回答

(2) 休日の自由時間

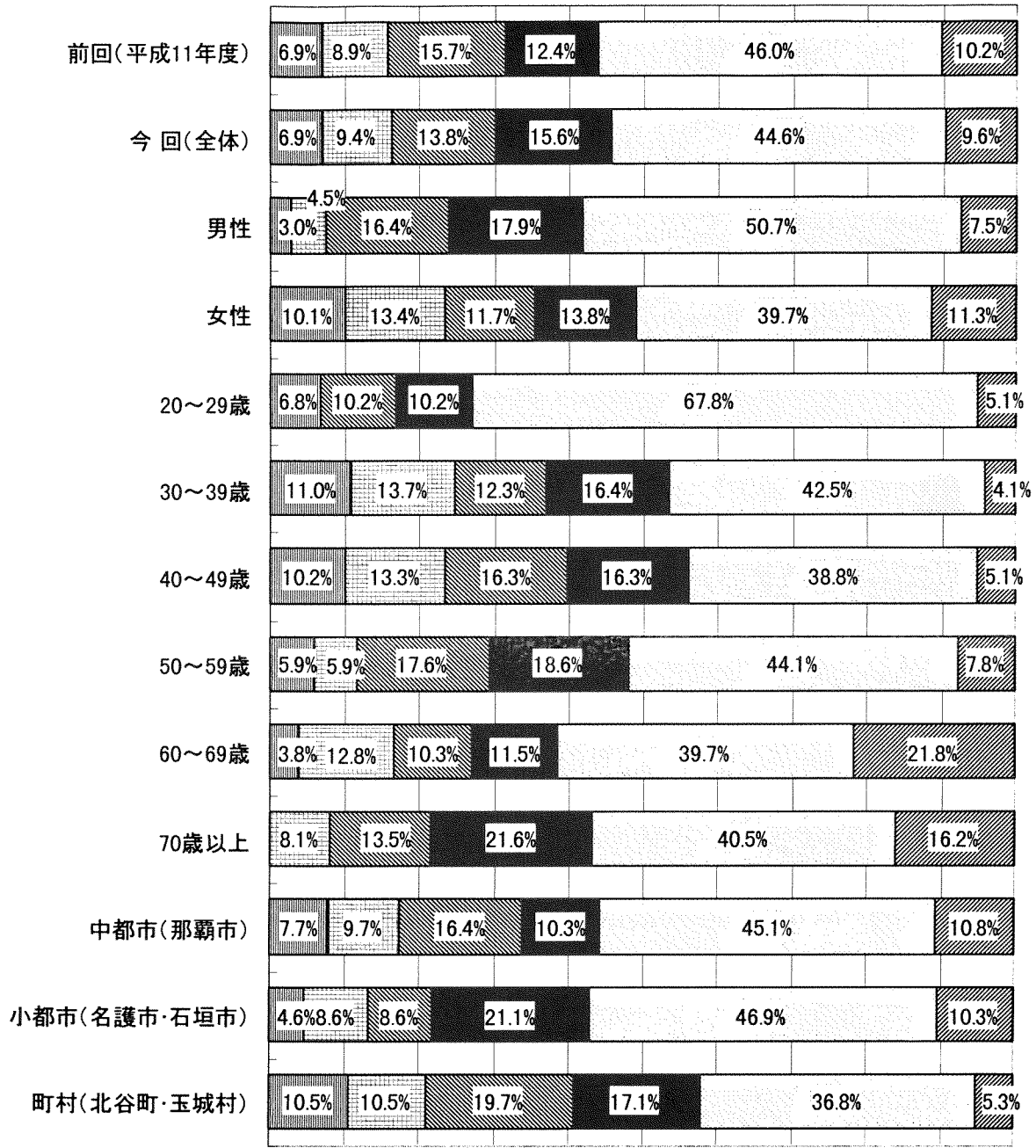
男女別にみると、男性 6.1 時間（6 時間 6 分）、女性 4.9 時間（4 時間 54 分）と休日における女性の自由時間は男性のおよそ 3 分の 2 である。「1 時間以下」の短い時間については、男性 3.0%、女性 10.1%と女性の割合が高いのに対して、「4 時間以上」になると、男性 50.7%、女性 39.7%と男性の割合が高い。休日における自由時間は平日の自由時間と同様に女性の自由時間が短い状況にあるとともに、男女の自由時間の差は、平日よりも休日のほうが大きくなっている。

年齢別にみると、20 歳代の 8.2 時間（8 時間 12 分）が最も長く、次に 70 歳代 5.8 時間であり、30 歳代 4.0 時間は休日における自由時間が短い。「1 時間以下」の割合は、30 歳代の 11.0%と他年齢層に比べて高く、働き盛りの年代であり、就業や子育てなど、日常生活の忙しさがうかがえる。また、「4 時間以上」の割合は、20 歳代の 67.8%が最も高くなっている。

平日よりも大幅に自由時間が増えており、十分な活動時間が確保することができる。一方では、依然として女性の自由時間が男性より短いことから、家庭内における家事の役割分担などの普及が求められているとみることができる。また、平日と休日の自由時間の長さに応じた学習時間の開講を実施するなどの柔軟なプログラムの準備も望まれる。



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ ①1時間以下 □ ②1~2時間以下 ▨ ③2~3時間以下
 ■ ④3~4時間以下 □ ⑤4時間以上 ▩ ⑥無回答

2-3 生涯学習の今後の方向

(問15、問16、問18)

1 今後重要となる生涯学習

問15 あなたは、今後のライフステージ（生活設計）の中で次のどの項目が一層重要になると思いますか。（1つ選んで下さい）

1. 家庭教育	3. 青年教育	5. 高齢者教育
2. 少年教育	4. 成人教育	

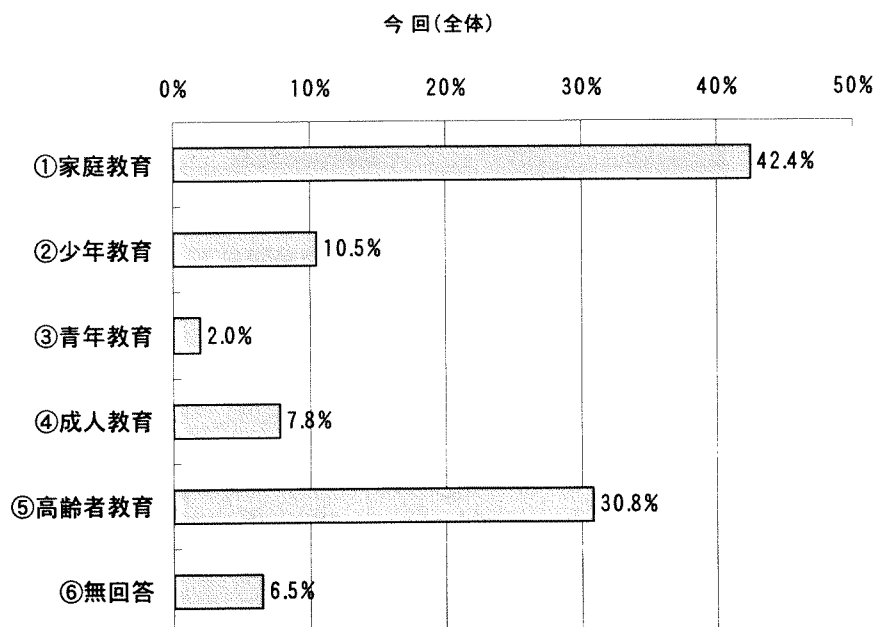
将来における生涯学習の重点について、「家庭教育」が42.4%と最も高く、以下、「高齢者教育」30.8%、「少年教育」10.5%、「成人教育」7.8%、「青年教育」2.0%と続いている。

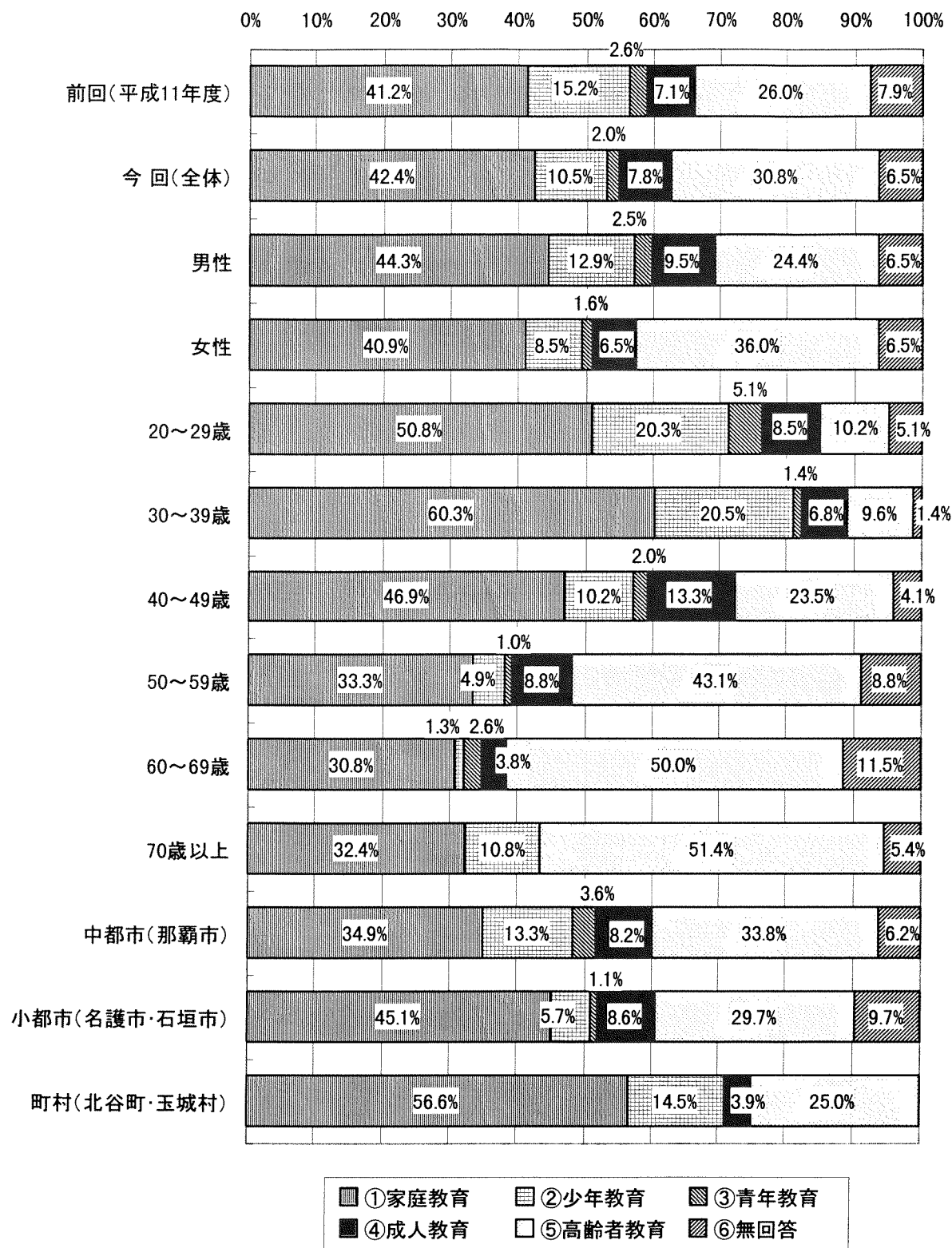
前回調査と比較すると、今回も前回と同じ順位である。その中で、今回1位の「家庭教育」は前回は1.2ポイント上回る42.4%を占めている。「家庭教育」の割合が高くなったことは、核家族化の進行、共働き世帯の増加などが進んでいるとともに、近年、学級崩壊をはじめ少年犯罪が多発しており、少年の家庭環境・教育のあり方が注目されている社会的背景がうかがえる。また、家庭における親子のふれあいなどが重要視されてきたことなどの影響も考えられる。

	今回の順位 (%)	前回の順位 (%)
家庭教育	1 (42.4%)	1 (41.2%)
高齢者教育	2 (30.8%)	2 (26.0%)
少年教育	3 (10.5%)	3 (15.2%)
成人教育	4 (7.8%)	4 (7.1%)
青年教育	5 (2.0%)	5 (2.6%)

男女別にみると、「家庭教育」については男女による差はない。「高齢者教育」については両者ともに4分の1以上を占めるが、男性(24.4%)に比べ、女性(36.0%)が1割ほど高く、女性の方が重要視している。

年齢別にみると、「家庭教育」は、30歳代60.3%、20歳代50.8%と他の年代に比べて高い割合を占め、小さい子どもを有する世帯に当たる若年層を中心に家庭教育の必要性を意識していることがわかる。「高齢者教育」については、60歳代50.0%、70歳代以上51.4%と、高年層を中心に重要性を認識しているが、30歳代9.6%、20歳代10.2%の若年層では重要性の認識が低くなっている。





問 15 今後のライフステージの中で一層重要となる生涯学習(1つ選択)

		標本数	一層重要となる生涯学習					6. 無回答
			1. 家庭教育	2. 少年教育	3. 青年教育	4. 成人教育	5. 高齢者教育	
前回(平成11年度)		607	250	92	16	43	158	48
		100.0%	41.2%	15.2%	2.6%	7.1%	26.0%	7.9%
今回(全体)		448	190	47	9	35	138	29
		100.0%	42.4%	10.5%	2.0%	7.8%	30.8%	6.5%
性別	男性	201	89	26	5	19	49	13
		100.0%	44.3%	12.9%	2.5%	9.5%	24.4%	6.5%
	女性	247	101	21	4	16	89	16
		100.0%	40.9%	8.5%	1.6%	6.5%	36.0%	6.5%
年齢	20～29歳	59	30	12	3	5	6	3
		100.0%	50.8%	20.3%	5.1%	8.5%	10.2%	5.1%
	30～39歳	73	44	15	1	5	7	1
		100.0%	60.3%	20.5%	1.4%	6.8%	9.6%	1.4%
	40～49歳	98	46	10	2	13	23	4
		100.0%	46.9%	10.2%	2.0%	13.3%	23.5%	4.1%
	50～59歳	102	34	5	1	9	44	9
		100.0%	33.3%	4.9%	1.0%	8.8%	43.1%	8.8%
	60～69歳	78	24	1	2	3	39	9
		100.0%	30.8%	1.3%	2.6%	3.8%	50.0%	11.5%
	70歳以上	37	12	4	0	0	19	2
		100.0%	32.4%	10.8%	0.0%	0.0%	51.4%	5.4%
	無回答	1	0	0	0	0	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
居住地	中都市(那覇市)	195	68	26	7	16	66	12
		100.0%	34.9%	13.3%	3.6%	8.2%	33.8%	6.2%
	小都市(名護市・石垣市)	175	79	10	2	15	52	17
		100.0%	45.1%	5.7%	1.1%	8.6%	29.7%	9.7%
	町村(北谷町・玉城村)	76	43	11		3	19	
		100.0%	56.6%	14.5%	0.0%	3.9%	25.0%	0.0%
	無回答	2	0	0	0	1	1	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

2 今後の学習方法

問 16 あなたは、今後学習するとすれば、どのような方法で学習したいとお考えですか。(3つまで選んで下さい)

1. 公民館を利用して	<input type="checkbox"/>
2. 図書館を利用して	<input type="checkbox"/>
3. 博物館を利用して	<input type="checkbox"/>
4. PTA・婦人会・老人クラブなどの事業に参加して	<input type="checkbox"/>
5. 民間のカルチャーセンターの事業に参加して	<input type="checkbox"/>
6. 農協・商工会・労働団体などの事業に参加して	<input type="checkbox"/>
7. 職業訓練所・研究機関・大学などの事業に参加して	<input type="checkbox"/>
8. 通信教育で	<input type="checkbox"/>
9. テレビ・ラジオを利用して	<input type="checkbox"/>
10. 雑誌・新聞などの出版物を利用して	<input type="checkbox"/>
11. 私立学校(専修学校・各種学校を含む)の事業に参加して	<input type="checkbox"/>
12. 企業内の事業に参加して	<input type="checkbox"/>
13. 仲間・サークルで	<input type="checkbox"/>
14. 地域組織による講座で	<input type="checkbox"/>
15. 地域の学校の公開事業に参加して	<input type="checkbox"/>
16. 放送大学で	<input type="checkbox"/>
17. その他	<input type="checkbox"/>

今後の学習方法として、「仲間・サークル」が 35.9%と最も高く、以下、「図書館を利用して」が 33.5%、「公民館を利用して」28.6%、「雑誌・新聞等の出版物を利用」27.9%、「テレビ・ラジオを利用」24.1%、「地域組織による講座」21.7%、「民間のカルチャーセンターの事業に参加」18.3%と続いている。

前回調査と比較すると、大きな順位や割合の変化はなかったが、今回、前回で2位だった公民館の利用が今回3位となり、前回3位だった図書館の利用が2位となる変化があった。

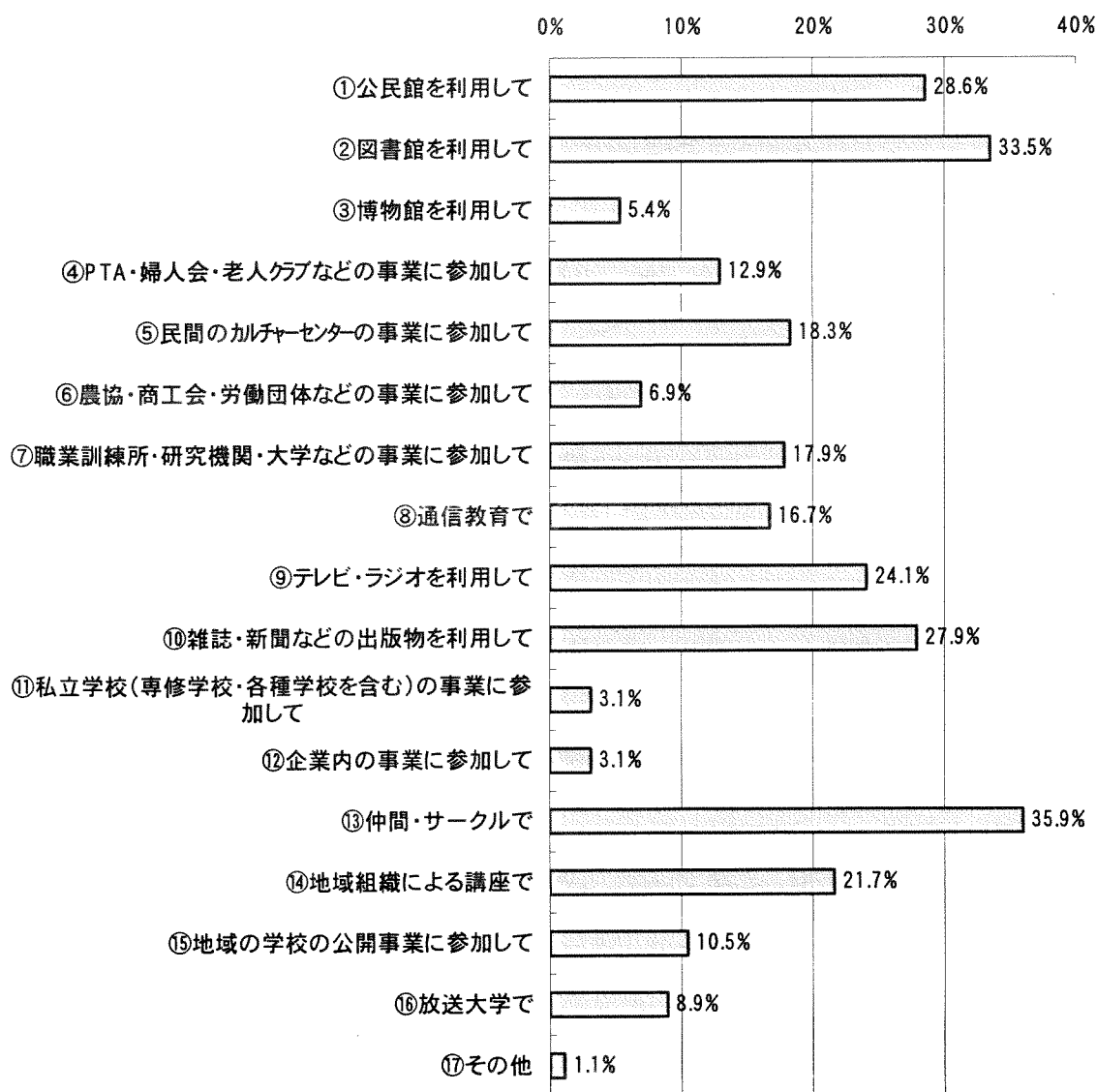
	今回の順位 (%)	前回の調査 (%)
仲間・サークルで	1 (35.9%)	1 (35.7%)
図書館を利用	2 (33.5%)	3 (30.6%)
公民館を利用	3 (28.6%)	2 (32.9%)
雑誌・新聞等の出版物を利用	4 (27.9%)	4 (24.4%)
テレビ・ラジオを利用	5 (24.1%)	5 (24.1%)

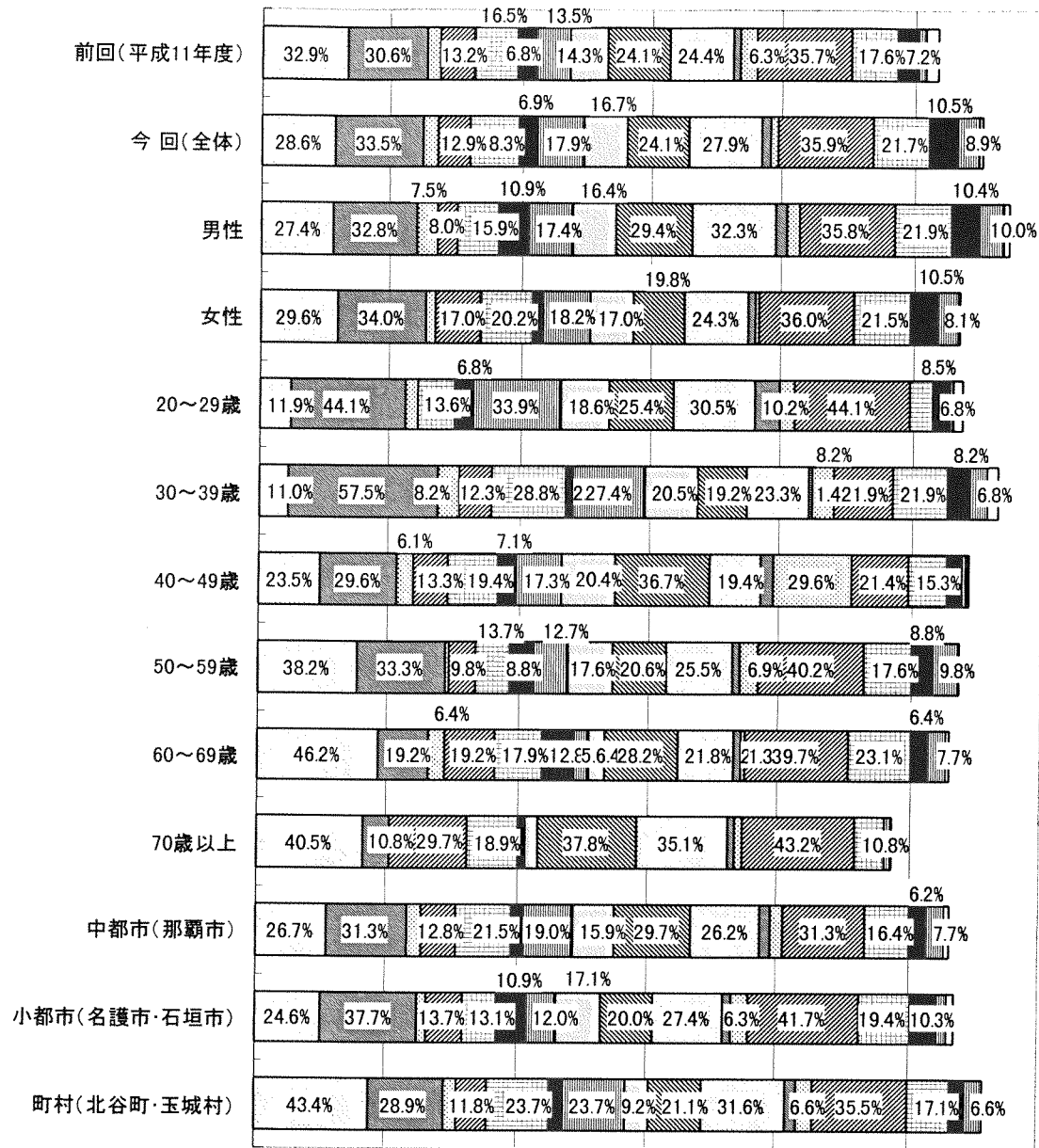
男女別にみると、女性が男性を上回っている項目は、「PTA・婦人会・老人クラブ等の事業に参加」(女性 17.0%、男性 8.0%)、「民間のカルチャーセンターの事業に参加」(女性 20.2%、男性 15.9%)、「公民館を利用して」(女性 29.6%、男性 27.4%)と続いている。一方、男性が女性を上回っている項目は、「テレビ・ラジオを利用」(男性 29.4%、女性 19.8%)、「雑誌・新聞等の出版物を利用」(男性 32.3%、女性 24.3%)「農協・商工会・労働団体などの事業に参加」(男性 10.9%、女性 3.6%)などである。女性は地域組織・グループによる学習方法、男性は会社組織や個人による学習方法に割合が高くなっている。

年代別にみると、「公民館を利用して」が60歳代の46.2%が最も高く、30歳代の11.0%が最も低く、年齢が増すにつれて割合が高くなっている。また、「PTA・婦人会・老人クラブ等の事業に参加」(全体 12.9%)が60歳代(19.2%)と70歳以上(29.7%)の高年層の割合が高くなっている。「仲間・サークル」は、20歳代で44.1%と最も高く、次に70歳代43.2%となっている。「図書館を利用して」が30歳代の57.5%が最も高いのに比べ、70歳以上では10.8%と最も低くなっている。「テレビ・ラジオを利用」と「雑誌・新聞等の出版物を利用」の両項目が70歳以上でそれぞれ37.8%、35.1%と最も高くなっている。

居住地別にみると、「公民館を利用して」が町村 43.4%、小都市 37.7%、中都市 26.7%と自治体の規模が小さいほど割合が高くなっている。また、「企業内の事業に参加」が町村 6.6%、小都市 6.3%、中都市 5.1%、「雑誌・新聞などの出版物を利用」が町村 31.6%、小都市 27.4%、中都市 26.2%と両者の項目について、公民館の利用と同様に自治体の規模が小さいほど割合は高い。

「仲間・サークル」の学習方法を中心としつつも、高齢者においては「公民館」などの居住地の身近なところで活動が行えることが重要であり、若者は図書館利用が比較的高いことから、教室や駐車場など施設の拡充に努めることが望まれるところである。





- ①公民館を利用して
- ②図書館を利用して
- ▨ ③博物館を利用して
- ▩ ④PTA・婦人会・老人クラブなどの事業に参加して
- ▧ ⑤民間のカルチャーセンターの事業に参加して
- ⑥農協・商工会・労働団体などの事業に参加して
- ▨ ⑦職業訓練所・研究機関・大学などの事業に参加して
- ⑧通信教育で
- ▨ ⑨テレビ・ラジオを利用して
- ⑩雑誌・新聞などの出版物を利用して
- ⑪私立学校の事業に参加して
- ▨ ⑫企業内の事業に参加して
- ▩ ⑬仲間・サークルで
- ▨ ⑭地域組織による講座で
- ⑮地域の学校の公開事業に参加して
- ▨ ⑯放送大学で
- ⑰その他

※6%未満は省略してあります

今後、学習する際の学習方法

	標本数		今後、学習する際の学習方法														
	1 公民館を利用して	2 図書館を利用して	3 博物館を利用して	4 PTA・婦人会・老人クラブなどの事業に参加して	5 民間のカルチャースターの事業に参加して	6 農協・商工会・労働団体などの事業に参加して	7 職業訓練所・研究所・大学などの事業に参加して	8 通信教育で	9 テレビ・ラジオを利用して	10 雑誌・新聞などの出版物を利用して	11 私立学校・専修学校・各種学校を含むの事業に参加して	12 企業内の事業に参加して	13 仲間・サークルで	14 地域組織による講座で	15 地域の学校の公開事業に参加して	16 放送大学で	17 その他
前回 (平成11年度)	200 100.0%	186 30.6%	29 4.8%	80 13.2%	100 16.5%	41 6.8%	82 13.5%	87 14.3%	146 24.1%	148 24.4%	18 3.0%	38 6.3%	217 35.7%	107 17.6%	44 7.2%	21 3.5%	30 4.9%
今回(全体)	448 100.0%	150 33.5%	24 5.4%	58 12.9%	82 18.3%	31 6.9%	80 17.9%	75 16.7%	108 24.1%	125 27.9%	14 3.1%	14 3.1%	161 35.9%	97 21.7%	47 10.5%	40 8.9%	5 1.1%
性別																	
男性	201 100.0%	66 32.8%	15 7.5%	16 8.0%	32 15.9%	22 10.9%	35 17.4%	33 16.4%	59 29.4%	65 32.3%	8 4.0%	10 5.0%	72 35.8%	44 21.9%	21 10.4%	20 10.0%	3 1.5%
女性	247 100.0%	84 34.0%	9 3.6%	42 17.0%	50 20.2%	9 3.6%	45 18.2%	42 17.0%	49 19.8%	60 24.3%	6 2.4%	4 1.6%	89 36.0%	53 21.5%	26 10.5%	20 8.1%	2 0.8%
年齢																	
20～29歳	59 100.0%	26 44.1%	3 5.1%	0 0.0%	8 13.6%	4 6.8%	20 33.9%	11 18.6%	15 25.4%	18 30.5%	6 10.2%	3 5.1%	26 44.1%	5 8.5%	4 6.8%	1 1.7%	2 3.4%
30～39歳	73 100.0%	42 57.5%	6 8.2%	9 12.3%	21 28.8%	2 2.7%	20 27.4%	15 20.5%	14 19.2%	17 23.3%	1 1.4%	6 8.2%	16 21.9%	16 21.9%	6 8.2%	5 6.8%	3 4.1%
40～49歳	98 100.0%	29 29.6%	6 6.1%	13 13.3%	19 19.4%	7 7.1%	17 17.3%	20 20.4%	36 36.7%	19 19.4%	5 5.1%	29 29.6%	21 21.4%	15 15.3%	9 9.1%	10 10.2%	0 0.0%
50～59歳	102 100.0%	34 33.3%	2 2.0%	10 9.8%	14 13.7%	9 8.8%	13 12.7%	18 17.6%	21 20.6%	26 25.5%	3 2.9%	7 6.9%	41 40.2%	18 17.6%	8 8.8%	10 9.8%	0 0.0%
60～69歳	78 100.0%	15 19.2%	5 6.4%	15 19.2%	14 17.9%	10 12.8%	4 5.1%	5 6.4%	22 28.2%	17 21.8%	2 2.6%	1 1.3%	31 39.7%	18 23.1%	5 6.4%	6 7.7%	1 1.3%
70歳以上	37 100.0%	4 10.8%	0 0.0%	11 29.7%	7 18.9%	1 2.7%	0 0.0%	2 5.4%	14 37.8%	13 35.1%	1 2.7%	1 2.7%	16 43.2%	4 10.8%	0 0.0%	1 2.7%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
居住地																	
中市 (那覇市)	195 100.0%	61 31.3%	11 5.6%	25 12.8%	42 21.5%	9 4.6%	37 19.0%	31 15.9%	58 29.7%	51 26.2%	8 4.1%	10 5.1%	61 31.3%	32 16.4%	12 6.2%	15 7.7%	4 2.1%
小都市(名護市・石垣市)	175 100.0%	43 37.7%	6 3.4%	24 13.7%	23 13.1%	19 10.9%	21 12.0%	30 17.1%	35 20.0%	48 27.4%	6 3.4%	11 6.3%	73 41.7%	34 19.4%	18 10.3%	7 4.0%	5 2.9%
町村(北谷町・玉城村)	76 100.0%	33 43.4%	4 5.3%	9 11.8%	18 23.7%	4 5.3%	18 23.7%	7 9.2%	16 21.1%	24 31.6%	3 3.9%	5 6.6%	27 35.5%	13 17.1%	4 5.3%	5 6.6%	0 0.0%
その他	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

3 今後参加したい学習活動

問 18 あなたは、今後、学習活動をするとしたらどのようなことをやってみたいと思いますか。
次の①～⑨の分野から選んでください。(3つまで選んで下さい)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 教育・福祉 | 6. 体育・スポーツ |
| 2. 教養 | 7. 市民生活・国際理解 |
| 3. 芸術・芸能 | 8. 健康 |
| 4. 産業・技術 | 9. その他 |
| 5. 趣味・家庭生活 | |

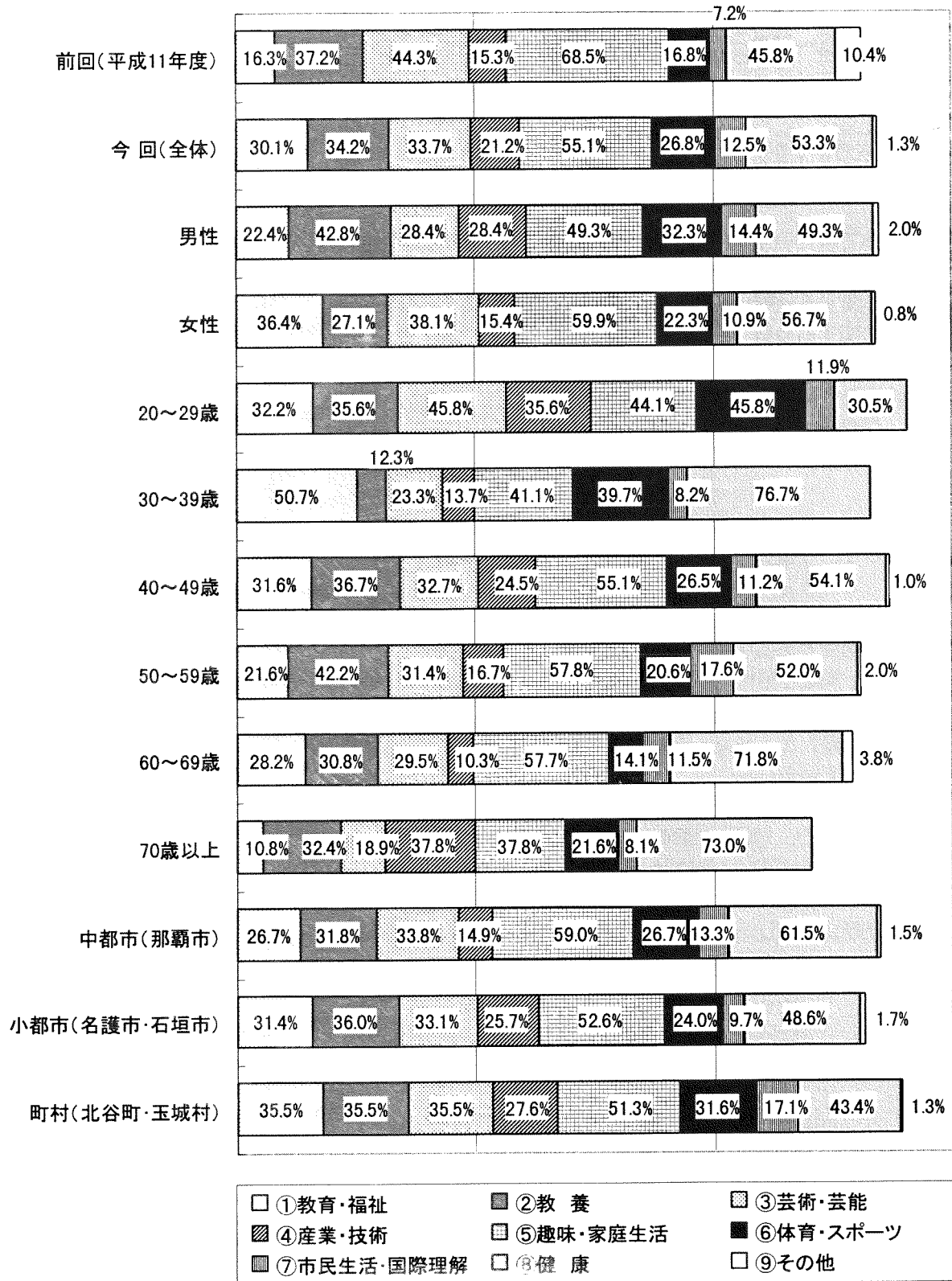
今後やってみたい学習内容として、「健康に関する分野」(53.3%)と「趣味・家庭生活に関する分野」(55.1%)の2分野が半数を占め高い割合となった。以下、「教養に関する分野」(34.2%)、「芸術・芸能に関する分野」(33.7%)、「教育・福祉に関する分野」(30.1%)の3分野が3割台、「体育・スポーツに関する分野」(26.8%)と「産業・技術に関する分野」(21.2%)の2分野が2割台となっている。

前回調査と今回調査では設問形態が異なるので、単純な比較は難しいが、今回の設問形態に読み替えると、「趣味・家庭生活に関する分野」(68.5%)、「健康の分野に関する分野」(45.8%)、「芸術・芸能に関する分野」(44.3%)、「教養に関する分野」(37.2%)の4分野の割合が比較的高い結果となった。

過去1年間において、継続的に学習活動を行ってきた健康や趣味・家庭生活、芸術・芸能に関する分野に対して、今後ともやりたい分野として取り上げている。

男女別にみると、「健康に関する分野」と「趣味・家庭生活に関する分野」の両分野については両者とも高い割合である中で、女性のほうが「趣味・家庭生活に関する分野」で1割強、「健康に関する分野」で約1割ほど男性より割合が高く、関心がより高いことがうかがえる。また、「教育・福祉」と「芸術・芸能に関する分野」で1割強と男性を上回る割合を示しており、関心が高い。男性では「教養に関する分野」と「産業・技術に関する分野」で1割強、「体育・スポーツに関する分野」で1割強女性を上回っている。

年代別にみると、「健康に関する分野」については70歳以上と60歳代、30歳代で7割を超える割合となっており特に高い。他には40歳代と50歳代が5割台と比較的高い。「趣味・家庭生活に関する分野」では50歳代(57.8%)と60歳代(57.7%)、40歳代(55.1%)が過半数を占めて高い。「教養に関する分野」に対し30歳代が5割となっており、他の年代に比べて突出している。



		標 本 数	今後やってみたい学習活動分野									
			1. 教育・福祉	2. 教養	3. 芸術・芸能	4. 産業・技術	5. 趣味・家庭生活	6. 体育・スポーツ	7. 市民生活・国際理解	8. 健康	9. その他	
前回 (平成11年度)		607	99	226	269	93	416	102	44	278	63	
		100.0%	16.3%	37.2%	44.3%	15.3%	68.5%	16.8%	7.2%	45.8%	10.4%	
今回(全体)		448	135	153	151	95	247	120	56	239	6	
		100.0%	30.1%	34.2%	33.7%	21.2%	55.1%	26.8%	12.5%	53.3%	1.3%	
性別	男性	201	45	86	57	57	99	65	29	99	4	
		100.0%	22.4%	42.8%	28.4%	28.4%	49.3%	32.3%	14.4%	49.3%	2.0%	
女性	247	90	67	94	38	148	55	27	140	2		
	100.0%	36.4%	27.1%	38.1%	15.4%	59.9%	22.3%	10.9%	56.7%	0.8%		
年齢	20~29歳	59	19	21	27	21	26	27	7	18	0	
		100.0%	32.2%	35.6%	45.8%	35.6%	44.1%	45.8%	11.9%	30.5%	0.0%	
	30~39歳	73	37	9	17	10	30	29	6	56	0	
		100.0%	50.7%	12.3%	23.3%	13.7%	41.1%	39.7%	8.2%	76.7%	0.0%	
	40~49歳	98	31	36	32	24	54	26	11	53	1	
		100.0%	31.6%	36.7%	32.7%	24.5%	55.1%	26.5%	11.2%	54.1%	1.0%	
	50~59歳	102	22	43	32	17	59	21	18	53	2	
		100.0%	21.6%	42.2%	31.4%	16.7%	57.8%	20.6%	17.6%	52.0%	2.0%	
	60~69歳	78	22	24	23	8	45	11	9	56	3	
		100.0%	28.2%	30.8%	29.5%	10.3%	57.7%	14.1%	11.5%	71.8%	3.8%	
	70歳以上	37	4	12	7	14	14	8	3	27	0	
		100.0%	10.8%	32.4%	18.9%	37.8%	37.8%	21.6%	8.1%	73.0%	0.0%	
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	居住地	中都市 (那覇市)	195	52	62	66	29	115	52	26	120	3
			100.0%	26.7%	31.8%	33.8%	14.9%	59.0%	26.7%	13.3%	61.5%	1.5%
小都市(名護市・石垣市)		175	55	63	58	45	92	42	17	85	3	
		100.0%	31.4%	36.0%	33.1%	25.7%	52.6%	24.0%	9.7%	48.6%	1.7%	
町村(北谷町・玉城村)		76	27	27	27	21	39	24	13	33	1	
		100.0%	35.5%	35.5%	35.5%	27.6%	51.3%	31.6%	17.1%	43.4%	1.3%	
その他	2	1	1	0	0	1	2	0	1	0		
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%		

2-4 「沖縄県生涯学習推進センター（仮称）」について

(問19、問20)

1 同センターの設置について

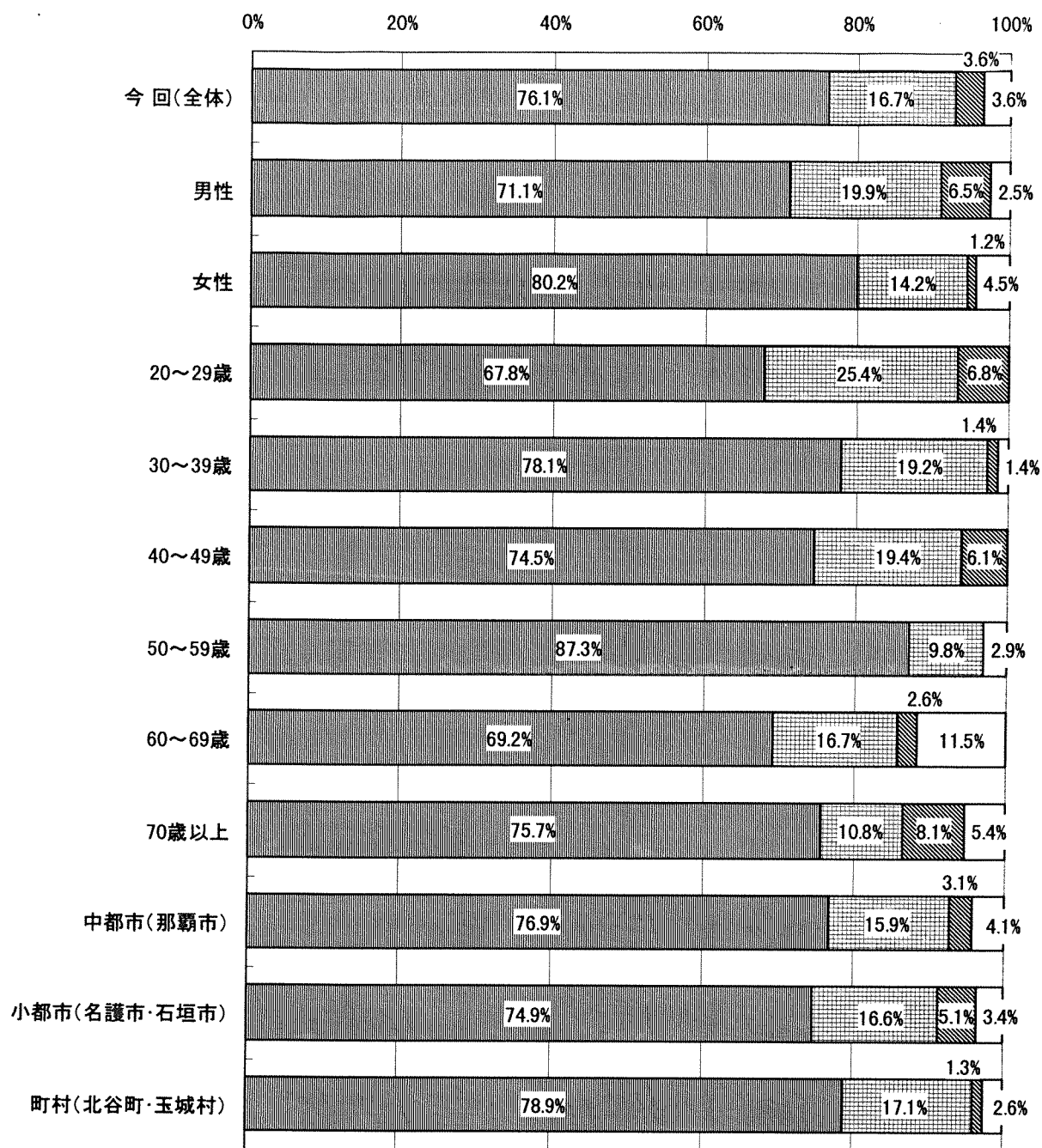
問19 あなたの生涯学習を支援する「沖縄県生涯学習推進センター（仮称）」の設置についてどう思いますか。（同センターでは、いろいろな学習活動、学習情報の提供、講習会などが開かれます。）

1. 必要である	2. どちらでもよい	3. 必要ない
----------	------------	---------

「必要である」が76.1%とほとんどを占めた。「必要ない」が3.6%と少ない。

男女別でみると、男性（71.1%）より女性（80.2%）のほうが「必要である」と答えた割合が約1割高くなっており、関心が高いことがうかがえる。

年代別では、各年代ともに「必要である」と答えた割合が高い中で、20歳代で「どちらでもよい」と答えたのが25.4%と比較的高いのが特徴的である。



■ ①必要である ■ ②どちらでもよい
 ▨ ③必要ない □ ④無回答

		標 本 数	センターの設置について			
			1. 必要である	2. どちらか必要	3. 必要ない	4 無回答
今 回(全体)		448	341	75	16	16
		100.0%	76.1%	16.7%	3.6%	3.6%
性 別	男性	201	143	40	13	5
		100.0%	71.1%	19.9%	6.5%	2.5%
	女性	247	198	35	3	11
		100.0%	80.2%	14.2%	1.2%	4.5%
年 齢	20～29 歳	59	40	15	4	0
		100.0%	67.8%	25.4%	6.8%	0.0%
	30～39 歳	73	57	14	1	1
		100.0%	78.1%	19.2%	1.4%	1.4%
	40～49 歳	98	73	19	6	0
		100.0%	74.5%	19.4%	6.1%	0.0%
	50～59 歳	102	89	10	0	3
		100.0%	87.3%	9.8%	0.0%	2.9%
	60～69 歳	78	54	13	2	9
		100.0%	69.2%	16.7%	2.6%	11.5%
	70 歳以上	37	28	4	3	2
		100.0%	75.7%	10.8%	8.1%	5.4%
	無回答	1	0	0	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
居 住 地	中都市(那覇市)	195	150	31	6	8
		100.0%	76.9%	15.9%	3.1%	4.1%
	小都市(名護市・石垣市)	175	131	29	9	6
		100.0%	74.9%	16.6%	5.1%	3.4%
	町村(北谷町・玉城村)	76	60	13	1	2
	100.0%	78.9%	17.1%	1.3%	2.6%	
無回答	2	0	2	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

2 利用したい内容

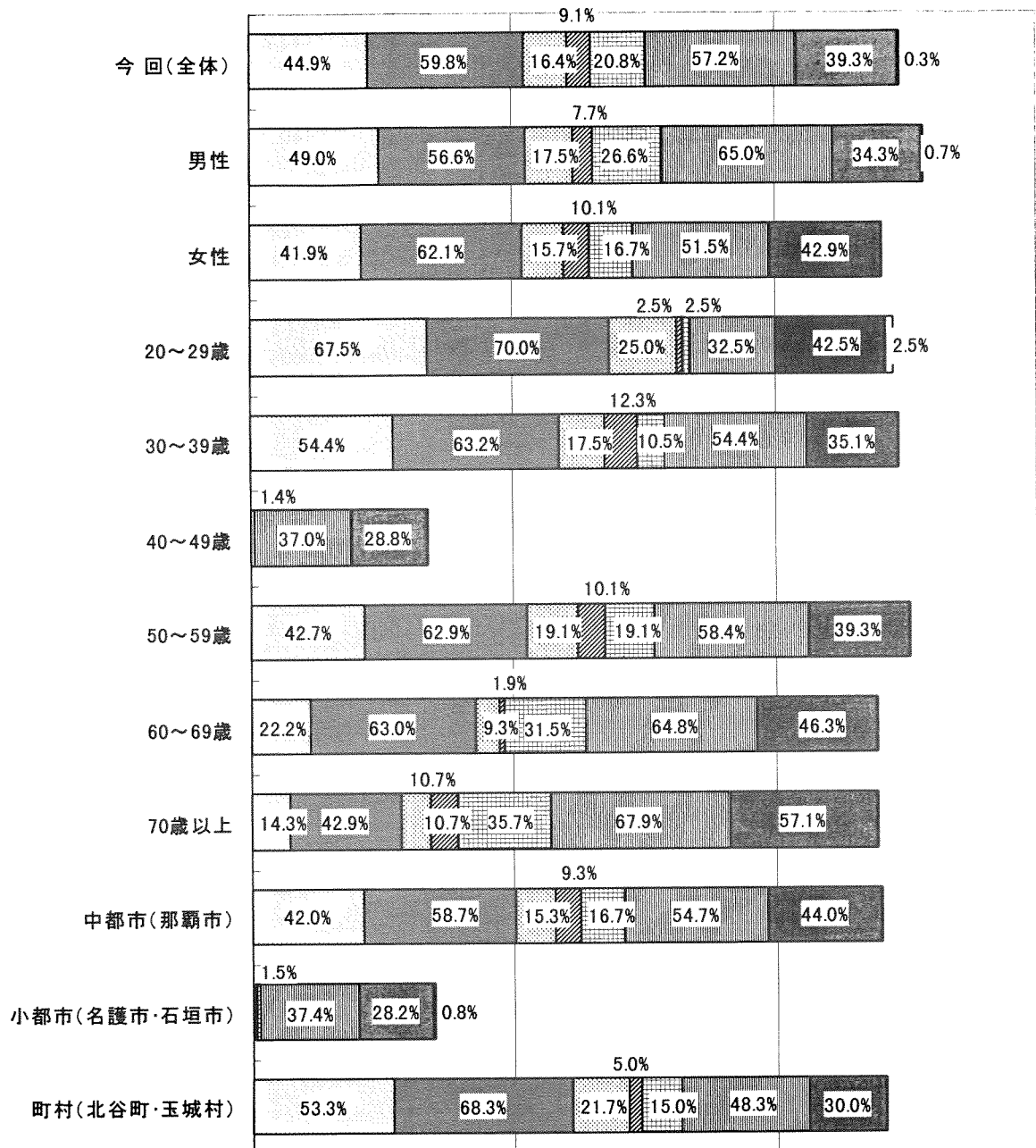
問 20 前問で、「必要である」と答えた方にうかがいます。設置された場合、あなたはどれについて利用したいですか。(3つまで選んで下さい)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. インターネットで「学習情報」を収集したい。 | <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> |
| 2. 県内各地で行われる、いろいろな「講座」を受けてみたい。 | |
| 3. 「指導者養成講座」を受けたい。 | |
| 4. 「学習相談」をしたい。 | |
| 5. 社会教育に関する「シンポジウム」に参加してみたい。 | |
| 6. 社会教育に関する「講演」を聴いてみたい。 | |
| 7. いろいろな交流ができる「交流室」を利用したい。 | |

利用したい内容として、「いろいろな「講座」を受けてみたい」(59.8%)と「講演」を聴いてみたい」(57.2%)の両項目が過半を占める割合となっており、問8の要望で割合が高かった「学習機会を増やす」ことのニーズが反映されたものと思われる。

男女別でみると、男性の割合が女性を上回っているのが「講演」を聴いてみたい」で1割台、「シンポジウム」に参加してみたい」で1割となっている。女性については、「交流室」を利用してみたい」で約1割男性を上回っているのが特徴的である。

年代別でみると、40歳代が「講演」を聴いてみたい」と「交流室」を利用してみたい」についてそれぞれ37.0%、28.8%と他の項目と比較して高く偏っているのが特徴的である。「インターネットで「学習情報」を収集したい」については若い年代ほど割合が高い傾向にあり(40歳代を除く)、20歳代で67.5%、30歳代で54.4%、50歳代で42.7%と高い。逆に年代が高いほど割合が高い傾向がみられるのが「講演」を聴いてみたい」であり、特に70歳以上では67.9%と高い。



- ①インターネットで「学習情報」を収集
- ②各地のいろいろな講座を受ける
- ▨ ③「指導者養成講座」を受ける
- ▩ ④「学習相談」の利用
- ▧ ⑤社会教育に関する「シンポジウム」に参加
- ▦ ⑥社会教育に関する「講演」を聴く
- ▤ ⑦いろいろな交流ができる「交流室」の利用
- ⑧無回答

		標 本 数	設置された場合の利用							8. 無回答
			1. インターネット で「学習情報」 を収集	2. 各地のいろいろな 講座を受ける	3. 「指導者養成講座」 を受ける	4. 「学習相談」の 利用	5. 社会教育に関する 「シンポジウム」 に参加	6. 社会教育に関する 「講演を聴く」	7. いろいろな交流が できる「交流室」 の利用	
今 回(全体)		341	153	204	56	31	71	195	134	1
		100.0%	44.9%	59.8%	16.4%	9.1%	20.8%	57.2%	39.3%	0.3%
性 別	男性	143	70	81	25	11	38	93	49	1
		100.0%	49.0%	56.6%	17.5%	7.7%	26.6%	65.0%	34.3%	0.7%
	女性	198	83	123	31	20	33	102	85	0
		100.0%	41.9%	62.1%	15.7%	10.1%	16.7%	51.5%	42.9%	0.0%
年 齢	20～29 歳	40	27	28	10	1	1	13	17	1
		100.0%	67.5%	70.0%	25.0%	2.5%	2.5%	32.5%	42.5%	2.5%
	30～39 歳	57	31	36	10	7	6	31	20	0
		100.0%	54.4%	63.2%	17.5%	12.3%	10.5%	54.4%	35.1%	0.0%
	40～49 歳	73	1	0	0	0	0	27	21	0
		100.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.0%	28.8%	0.0%
	50～59 歳	89	38	56	17	9	17	52	35	0
		100.0%	42.7%	62.9%	19.1%	10.1%	19.1%	58.4%	39.3%	0.0%
60～69 歳	54	12	34	5	1	17	35	25	0	
	100.0%	22.2%	63.0%	9.3%	1.9%	31.5%	64.8%	46.3%	0.0%	
70 歳以上	28	4	12	3	3	10	19	16	0	
	100.0%	14.3%	42.9%	10.7%	10.7%	35.7%	67.9%	57.1%	0.0%	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
居 住 地	中都市(那覇市)	150	63	88	23	14	25	82	66	0
		100.0%	42.0%	58.7%	15.3%	9.3%	16.7%	54.7%	44.0%	0.0%
	小都市(名護市・ 石垣市)	131	0	0	1	1	2	49	37	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	1.5%	37.4%	28.2%	0.8%
	町村(北谷町・ 玉城村)	60	32	41	13	3	9	29	18	0
100.0%		53.3%	68.3%	21.7%	5.0%	15.0%	48.3%	30.0%	0.0%	
その他	0	32	41	13	3	9	29	18	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

2-5 青少年育成活動について

(問 22、問 23、問 24)

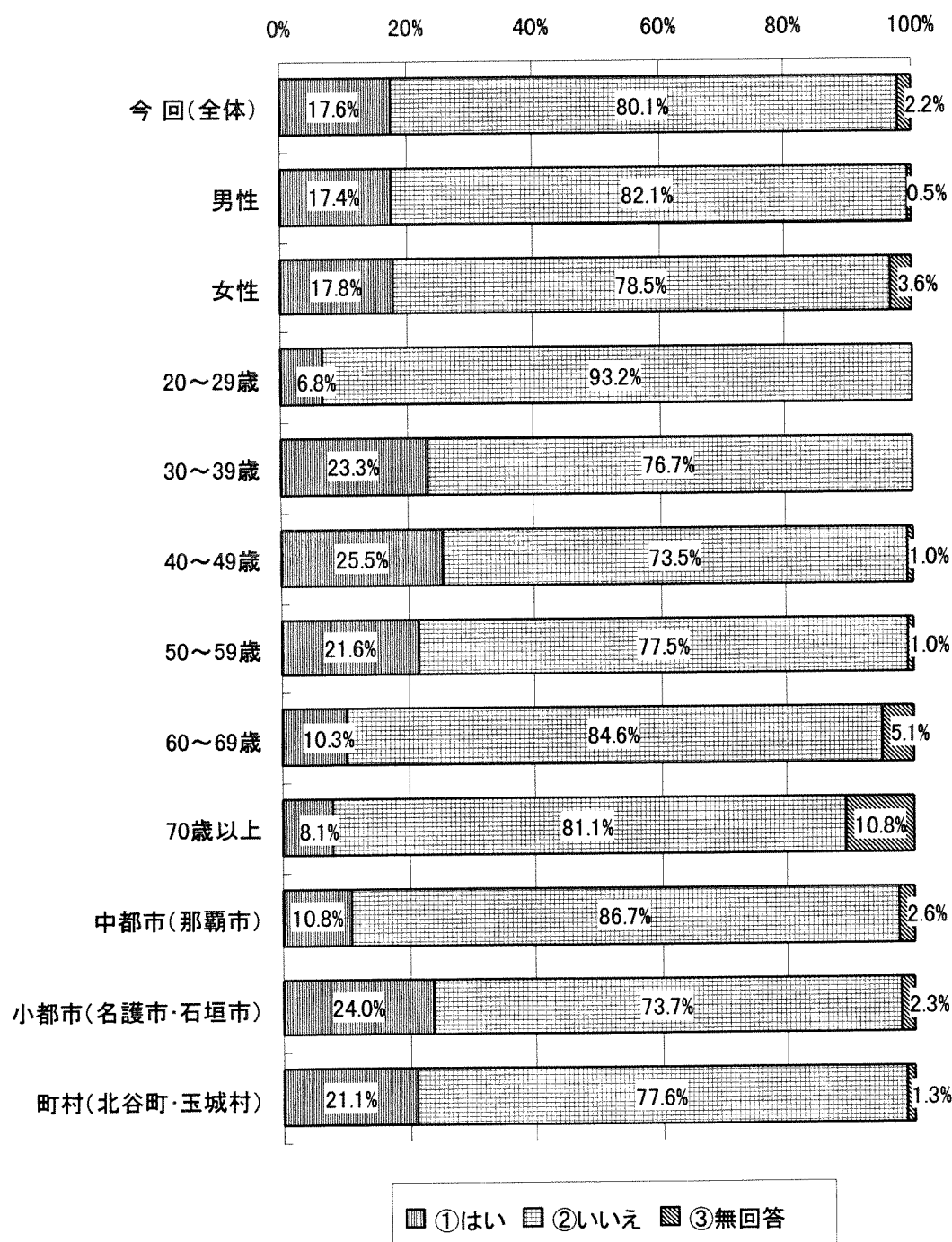
1. 活動への参加状況

問 22 自分の地域、または学校などで、青少年育成活動に携わっていますか。

「はい」と答えたのが17.6%と2割弱でほとんどの県民は携わっていない状況にある。

男女別でも同様な傾向にある。

年代別で見ると、全体として「はい」と答えた割合が低い中で、40歳代(25.5%)と30歳代(23.3%)及び50歳代(21.6%)で比較的高いのが特徴的である。子育ての年代に当たり、子育てを通して携わっている状況がうかがえる。



■ ①はい ■ ②いいえ ■ ③無回答

		標 本 数	青少年育成活動への参加		
			1. はい	2. いいえ	3. 無回答
今 回(全体)		448	79	359	10
		100.0%	17.6%	80.1%	2.2%
性 別	男性	201	35	165	1
		100.0%	17.4%	82.1%	0.5%
	女性	247	44	194	9
		100.0%	17.8%	78.5%	3.6%
年 齢	20～29 歳	59	4	55	0
		100.0%	6.8%	93.2%	0.0%
	30～39 歳	73	17	56	0
		100.0%	23.3%	76.7%	0.0%
	40～49 歳	98	25	72	1
		100.0%	25.5%	73.5%	1.0%
	50～59 歳	102	22	79	1
		100.0%	21.6%	77.5%	1.0%
	60～69 歳	78	8	66	4
		100.0%	10.3%	84.6%	5.1%
	70 歳以上	37	3	30	4
		100.0%	8.1%	81.1%	10.8%
	無回答	1	0	1	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
居 住 地	中都市(那覇市)	195	21	169	5
		100.0%	10.8%	86.7%	2.6%
	小都市(名護市・石垣市)	175	42	129	4
		100.0%	24.0%	73.7%	2.3%
	町村(北谷町・玉城村)	76	16	59	1
		100.0%	21.1%	77.6%	1.3%
	無回答	2	0	2	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%

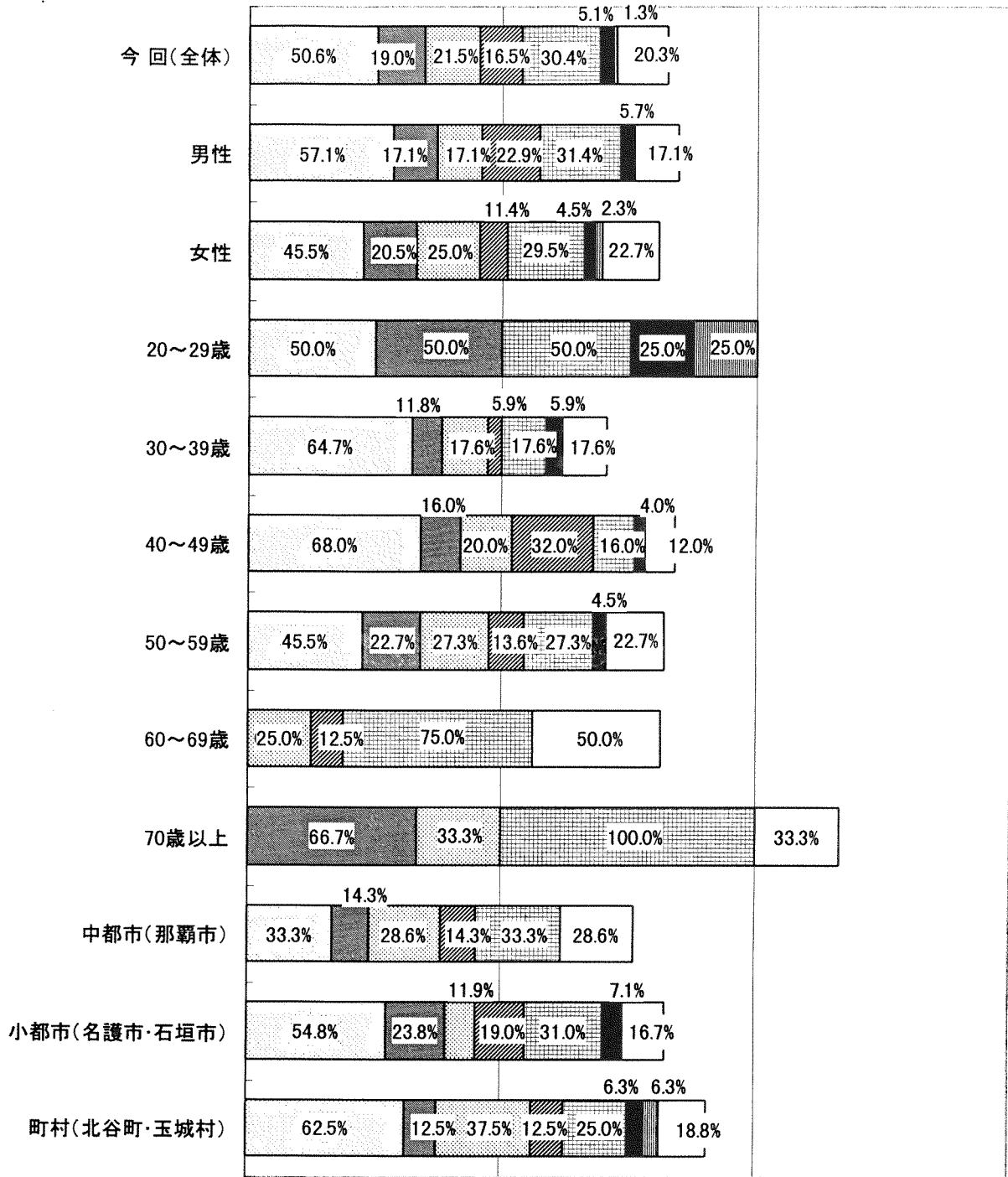
2 活動の内容

問 23 問 22 で「はい」と答えた方にお尋ねします。どのような青少年育成活動に携わっていますか。(3つまで選んでください)

活動内容としては、「PTA活動」と答えたのが50.6%と半数を占めて最も高く、「地域自治公民館活動」が30.4%、「地域子ども会活動」が21.5%、「学校支援ボランティア活動」が19.0%、「地域少年スポーツ活動」が16.5%と続いており、それら以外の項目は1割未満である。

男女別でみると、男性が女性を比較的大きく上回っているのが「PTA活動」と「地域少年スポーツ活動」である。逆に女性では「地域子ども会活動」である。

年代別でみると、30歳代と40歳代及び50歳代の子育ての年代では活動のバリエーションが多くなっており、多様に活動している状況がうかがえる。若い年代と子育てをおおむね終えた高齢の年代になるとバリエーションが少なくなり、特に70歳以上では「地域自治公民館活動」が主体になっていることがわかる。



- ①PTA活動
- ②学校支援ボランティア活動
- ▨ ③地域子ども会活動
- ▩ ④地域少年スポーツ活動
- ▧ ⑤地域自治公民館活動
- ⑥スポーツ少年団育成活動
- ▨ ⑦ボーイスカウト・ガールスカウト活動
- ⑧その他

	標 本 数	青少年育成活動の内容								
		1. P T A 活 動	2. 学 校 支 援 ホ ラ ン テ ィ ア 活 動	3. 地 域 子 ど も 会 活 動	4. 地 域 少 年 ス ポ ー ツ 活 動	5. 地 域 自 治 公 民 館 活 動	6. ス ポ ー ツ 少 年 団 育 成 活 動	7. ボー イス カ ウト ・ ガ ール ス カ ウ ト 活 動	8. そ の 他	
今 回(全体)		79	40	15	17	13	24	4	1	16
		100.0%	50.6%	19.0%	21.5%	16.5%	30.4%	5.1%	1.3%	20.3%
性 別	男性	35	20	6	6	8	11	2	0	6
		100.0%	57.1%	17.1%	17.1%	22.9%	31.4%	5.7%	0.0%	17.1%
	女性	44	20	9	11	5	13	2	1	10
		100.0%	45.5%	20.5%	25.0%	11.4%	29.5%	4.5%	2.3%	22.7%
年 齢	20～29 歳	4	2	2	0	0	2	1	1	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	30～39 歳	17	11	2	3	1	3	1	0	3
		100.0%	64.7%	11.8%	17.6%	5.9%	17.6%	5.9%	0.0%	17.6%
	40～49 歳	25	17	4	5	8	4	1	0	3
		100.0%	68.0%	16.0%	20.0%	32.0%	16.0%	4.0%	0.0%	12.0%
	50～59 歳	22	10	5	6	3	6	1	0	5
		100.0%	45.5%	22.7%	27.3%	13.6%	27.3%	4.5%	0.0%	22.7%
	60～69 歳	8	0	0	2	1	6	0	0	4
		100.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	75.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	70 歳以上	3	0	2	1	0	3	0	0	1
		100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
居 住 地	中都市 (那覇市)	21	7	3	6	3	7	0	0	6
		100.0%	33.3%	14.3%	28.6%	14.3%	33.3%	0.0%	0.0%	28.6%
	小都市(名護市 ・石垣市)	42	23	10	5	8	13	3	0	7
		100.0%	54.8%	23.8%	11.9%	19.0%	31.0%	7.1%	0.0%	16.7%
	町村(北谷町・ 玉城村)	16	10	2	6	2	4	1	1	3
		100.0%	62.5%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%	6.3%	6.3%	18.8%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

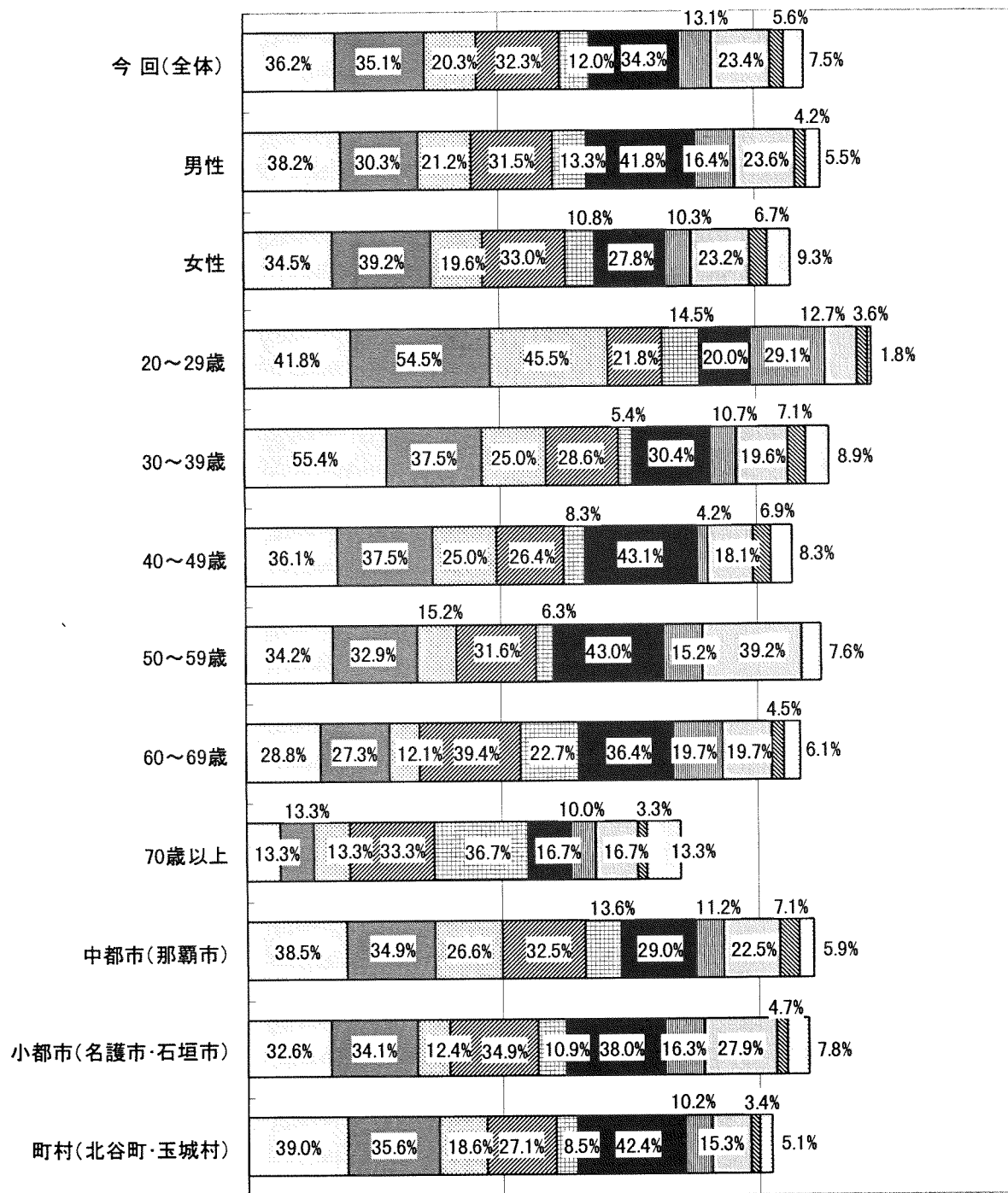
3 参加できない理由

問 24 問 22 で「いいえ」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか。(3つまで選んでください)

参加できない理由として「時間がない」(36.2%)と「どこで携わればよいかわからない」(35.1%)、「持てる技術(資格)がない」(32.3%)、「仕事が忙しい」(34.3%)の4項目で3割を超えて高い。次に2割台と比較的高いのが「地域の人を知らない」(20.3%)と「関わりをつなぐコーディネーターがない」(23.4%)となっている。この中で「どこで携わればよいかわからない」と「地域の人を知らない」及び「関わりをつなぐコーディネーターがない」の3つの理由については、携わるきっかけや窓口を設けることによって、活動に参加できる可能性があるものと考えられることから、ていねいな情報提供等を行うなどの支援が必要と思われる。

男女別でみると、おおむね同じような傾向にある中で、「仕事が忙しい」と答えたのが男性で41.8%と女性(27.8%)を1割強上回っているのが特徴的である。

年代別でみると、若い年代ほど「時間がない」や「どこで携わればよいかわからない」、「地域の人を知らない」と答えた割合が高い傾向にある。また、30歳代・40歳代・50歳代の子育ての年代では「仕事が忙しい」と答えた割合が比較的高く、社会的な中堅層の忙しさがうかがわれる。50歳代で「関わりをつなぐコーディネーターがない」が39.2%と約4割となっており、特徴的である。



- ①時間がない
- ②どこで携わればよいかわからない
- ▨ ③地域の人を知らない
- ▩ ④持てる技術(資格)がない
- ▧ ⑤健康上の理由がある
- ⑥仕事が忙しい
- ▩ ⑦趣味等の時間で忙しい
- ⑧関わりをつなぐコーディネーターがない
- ▨ ⑨手続きが面倒である
- ⑩その他

	標 本 数	参加できない理由										
		1. 時間がない	2. どこで携わればよいかわ からない	3. 地域の人を知らない	4. 持っている技術(資格)がな い	5. 健康上の理由がある	6. 仕事が忙しい	7. 趣味等の時間で忙しい	8. 関わりをつなぐコーデ ィ ネーターがない	9. 手続きが面倒である	10. その他	
今回(全体)	359	130	126	73	116	43	123	47	84	20	27	
	100.0%	36.2%	35.1%	20.3%	32.3%	12.0%	34.3%	13.1%	23.4%	5.6%	7.5%	
性別	男性	165	63	50	35	52	22	69	27	39	7	9
	100.0%	38.2%	30.3%	21.2%	31.5%	13.3%	41.8%	16.4%	23.6%	4.2%	5.5%	
	女性	194	67	76	38	64	21	54	20	45	13	18
	100.0%	34.5%	39.2%	19.6%	33.0%	10.8%	27.8%	10.3%	23.2%	6.7%	9.3%	
年齢	20～29歳	55	23	30	25	12	8	11	16	7	2	1
	100.0%	41.8%	54.5%	45.5%	21.8%	14.5%	20.0%	29.1%	12.7%	3.6%	1.8%	
	30～39歳	56	31	21	14	16	3	17	6	11	4	5
	100.0%	55.4%	37.5%	25.0%	28.6%	5.4%	30.4%	10.7%	19.6%	7.1%	8.9%	
	40～49歳	72	26	27	18	19	6	31	3	13	5	6
	100.0%	36.1%	37.5%	25.0%	26.4%	8.3%	43.1%	4.2%	18.1%	6.9%	8.3%	
	50～59歳	79	27	26	12	25	5	34	12	31	0	6
	100.0%	34.2%	32.9%	15.2%	31.6%	6.3%	43.0%	15.2%	39.2%	0.0%	7.6%	
	60～69歳	66	19	18	8	26	15	24	13	13	3	4
	100.0%	28.8%	27.3%	12.1%	39.4%	22.7%	36.4%	19.7%	19.7%	4.5%	6.1%	
	70歳以上	30	4	4	4	10	11	5	3	5	1	4
	100.0%	13.3%	13.3%	13.3%	33.3%	36.7%	16.7%	10.0%	16.7%	3.3%	13.3%	
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
居住地	中都市 (那覇市)	169	65	59	45	55	23	49	19	38	12	10
	100.0%	38.5%	34.9%	26.6%	32.5%	13.6%	29.0%	11.2%	22.5%	7.1%	5.9%	
	小都市(名護市 ・石垣市)	129	42	44	16	45	14	49	21	36	6	10
	100.0%	32.6%	34.1%	12.4%	34.9%	10.9%	38.0%	16.3%	27.9%	4.7%	7.8%	
	町村(北谷町・ 玉城村)	59	23	21	11	16	5	25	6	9	2	3
100.0%	39.0%	35.6%	18.6%	27.1%	8.5%	42.4%	10.2%	15.3%	3.4%	5.1%		
その他	2	0	2	1	0	1	0	1	1	0	0	
100.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

自由記入

自由記入の意見は、以下のとおりである。

参加しやすい時間や場所、条件整備を求める意見や内容等に関する意見が主に記された。

	自由記入
参加の機会	・仕事をしていても参加しやすい状況にして欲しい。
	・離島に住んでいると情報も少ないし講演なども少ない。不便を感じる人が多い。
	・格安の講座を夜間にも欲しい。
	・色々なことに参加したいが育児に時間を取られてしまう。
	・各自治体で現在でも様々な学習の場が設けられているが、平日の昼間、時間の都合がつく人しか利用出来ないものが多すぎる。
	・勉強する場所が近くにない。
	・仕事の終了時間が午後8～10時頃までなのでスポーツ施設の利用が難しい。
	・施設利用時間がもっと遅くまでだと利用しやすい。
	・学校施設をもう少し利用しやすくして欲しい。
	・自治公民館の使用料をやすくして欲しい。
生涯学習について	・職場において生涯学習に関する事に参加必要とする時間を仕事にさしつかえない範囲において、承認する制度があればよいと思う。
	・地域村町で講座を広めたい。
	・生涯学習の内容がいまひとつわかりません。是非詳しく知りたいです。
	・生涯学習は健康になるためよいと思う。
	・人はいつでも学習していないと忘れてしまうので、続けることが大切だと思います。
	・生涯学習は老人病の防止に役立つと思う。
	・生涯学習といっても範囲が広いので自分が参加している状態か否かもわかりにくい。
	・生涯学習という語句がわかりにくい。他に表現方法はないのか？
	・生涯学習とあまり騒ぎすぎないように思う。
	・人間性と教養の釣り合いが何よりも大切。
講座等の内容	・私もたくさん学びたい事がある。
	・学習する機会があまり無いので場所があったら勉強したい。
	・自分が感じた生涯学習では現実には力不足の感じがしました。
	・出来るだけ多くの県民が外国語を話せるようになるために、そのような講座を開いてほしい。
	・定年後の(頭脳・知識・パワー)が生かせるような場を設けることも考えてほしい。
	・子どもたちと同じ教科書を使った、英語・数学・歴史などの勉強(本当の授業のように)をしたい。
	・各講座は市の偏向的主義などの閉鎖的な面が強いので、利用参加しづらい。
	・精神障害者の人も学習出来るようなものをつくって欲しい。
	・学習内容が偏っている。
	・さらなる県・各市町村に強力な講師の講話をお願いします。
施設整備や拡充等	・ペットが増えてきているので、ペット教室を設けて欲しい。
	・多様なカルチャー講座が欲しい。
	・放送大学に通っているが、学費が100%自己負担なので生活費に圧迫している。
	・色々な講習会があるが、無料(又は格安)で受講出来る講座はほとんど昼間の受講が多い。
	・近くの場所(小・中学校の体育館など)利用したいです。
	・現在ある施設を充実させる方が賢明だと思う。
・図書館のビジュアル関係の充実を希望します。	
・近隣に週2回くらいヨガ、ジャズダンス等のスポーツを教える施設があれば…。	
・昔は縁側があり、隣の近所の方々と交流がありました。近年はないので地域に拠点をつくって欲しい。	
・資格取得に関する施設は中部や南部に多いため北部から通うのは大変。もっと北部にも施設が欲しい。	
・各地域に数多く設置しないと地方の人々には役に立たない。	

広報	・気軽に声かけ、依頼協力があると嬉しい。
	・学習成果のよいビデオ作成を行い広報する。
	・学習内容を沖縄に限定せず県外・海外にも広げて欲しい。
交通	・勉強の出来る場所を求めていくが、交通費が大変。
	・運転免許を持たないため、那覇に講座を開設するにしても、北部・名護からの専用バスを有料(格安)でも設けて欲しい。
その他	・学習成果の発表会・競技大会を定期的に行う事業推進。
	・年輩の方々を見ていると、グランドゴルフやゲートボール等で早朝から忙しく本音で話し合える友はなく孤独。
	・もっと落ち着いた年寄りになる為にはどうあるべきか思案中です。
	・計画だけでなく是非実現してほしい。
	・子どもも手が離れ、学校との交わりもなくなり、本気で一生続けられることを考える時期にきた。
	・自分にもっと手伝えることがあったら協力して楽しい学習の場が出来たらいいと思います。
	・生け花の技術をもっており現在個人的に教室を開いています、ボランティアに近いことに役立ちたいです。
	・子どもが幼稚園に行っているからそこからの情報でしかない。
	・マンションの区費を払っていないので、観覧版などの地域の情報がわかりにくい。
	・インターネットなどを利用している。
・公民館文化センターなど、公共施設を利用。	

沖縄県生涯学習に関する県民意識調査

春暖の候、貴台にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、この度、「生涯学習県民意識調査」を実施することになり無作為抽出の結果、貴台が回答者に選ばれました。
この調査は、市町村及び県の生涯学習施策を検討するために必要なデータを得るために実施するものであります。
つきましては、ご多忙の所、まことに勝手ではございますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成15年 1月 沖縄県教育委員会教育長 津嘉山 朝祥

【記入上のご注意】

- ・設問であなたの考えに当てはまる項目の番号を□の中に記入してください。
- ・アンケート票到着後、一週間以内に回答して同封の返信用封筒にて投函して下さい。

- ・この調査に関する問い合わせは下記までご連絡下さい。

沖縄県教育庁生涯学習振興課 兼 城 TEL866-2746

問1 あなたの性別は。

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢は。

1. 20歳～29歳 4. 50歳～59歳
2. 30歳～39歳 5. 60歳～69歳
3. 40歳～49歳 6. 70歳以上

問3 あなたは、現在の所に住んで何年になりますか。

約 年

問4 今あなたが住んでいる市町村は。

1. 那覇市 3. 石垣市 5. 玉城村
2. 名護市 4. 北谷町

問5 あなたの職業は。

1. 農・林・漁業の自営・家業従業
2. 商・工・サービス業の自営・家業従業
3. 会社・商店・工場・役場などの勤め
4. パート・アルバイト
5. 無職の主婦・主夫
6. 無職・無業

問6 あなたがこの一年間に継続して学習活動されたことを、次の①～⑨の分野から選んでください。(いくつ選んでもかまいません)

- ① 教育・福祉
子供会活動に関すること
しつけ・子どもの心理など育児や子どもの教育に関すること
手話・点字・介護などボランティアに関すること
- ② 教養
人権・時事など社会に関すること
歴史・地理・文学など一般教養に関すること
科学・技術の知識や自然保護・公害などに関すること
文学創作(俳句・詩・小説・自分史など)や鑑賞に関すること
- ③ 芸術・芸能
音楽などに関すること
絵画・書などに関すること
演劇などに関すること
- ④ 産業・技術
職業にかかわる知識や技術の習得に関すること
資格取得に関すること(保母・理学療法士・美容師等)
- ⑤ 趣味・家庭生活
和裁・洋裁・編み物・手芸・お茶・お花など
園芸・盆栽・囲碁・将棋など
写真・ビデオなど
生活技術に関すること(インターネット・パソコン等)
- ⑥ 体育・スポーツ
スポーツ活動の実践
スポーツの普及、スポーツ大会の運営等に関すること
- ⑦ 市民生活・国際理解
消費者問題、ゴミ問題などに関すること
国際交流、国際協力、国際政治、異民族の文化に関すること
- ⑧ 健康
健康管理に関すること(食生活のあり方など)
体力づくりに関すること(ジョギング・エアロビクス・ジャズダンスなど)
- ⑨ その他

問7 今後、いろいろな学習や活動に関する情報をお知らせする場合、どんな方法が最もよいと思いますか。(2つまで選んでください)

1. 市町村の広報で
2. 公民館の広報で
3. 自治会などの回覧板や掲示板で
4. チラシ・ポスター・パンフレットなどで
5. 知人や仲間などを通して口コミで
6. テレビで
7. ラジオで
8. 新聞で
9. ミニコミで
10. インターネットで

問8 今後、学習活動を進めていくうえであなたはどのようなことを要望しますか。(3つまで選んで下さい)

1. 生涯学習の指導者・専門家の育成・紹介にもっと力を入れてほしい
2. 事業案内・講師紹介など、学習するのに必要な情報をもっと提供してほしい
3. 講座・実習・見学・講演会・研修会など学習機会をもっと増やしてほしい
4. 学級や講座など生涯学習事業を、もっと利用しやすい曜日や時間に開いてほしい
5. 団体やグループの援助にもっと力を入れてほしい
6. 青少年教育施設をもっと設けてほしい
7. 公民館など学習や集会のための施設をもっと整えてほしい
8. 図書館をもっと設けてほしい
9. 博物館をもっと設けてほしい
10. 体育館のような屋内スポーツ施設をもっと設けてほしい
11. グラウンドやプールのような野外スポーツ施設をもっと設けてほしい
12. 学習やスポーツ施設に用具や機材をもっと整えてほしい
13. 社会・個人あるいは集団が学習成果を活用しうるようになるための評価をしてほしい

問9 あなたが学習や文化活動、スポーツ活動しているときの目的は、どんなことでしょうか。(5つまで選んでください)

1. 職業に必要な知識や技術を高めるため
2. 職業などに必要な資格を得るため
3. 社会の変化に遅れないため
4. 趣味を生かし生活に生きがいを持つため
5. 老後の生活を豊かにするため
6. 家庭生活に必要な知識や技術を高めるため
7. 気のあった仲間とともに学習し向上するため
8. 地域社会にいっそう役立てるため
9. 健康に役立てるため
10. その他()

問10 あなたが過去一年間に趣味活動や学習活動するために、使われた施設はどんなところですか。(4つまで選んでください)

1. 公民館 8. 会社の研修施設
2. 図書館 9. 民間のカルチャーセンター
3. 博物館 10. 民間のお稽古場
4. 青少年施設 11. 学校の施設
5. 婦人施設 12. 個人の家
6. 老人福祉施設 13. その他()
7. スポーツ施設 14. この一年間に施設を使わなかった

裏面へ続きます

問11 学習活動したり、学習に参加したりして、役立つことができましたか。(1つ選んで下さい)

- | | | |
|------------|-------------|--------------------------|
| 1. とても多かった | 3. あまりなかった | <input type="checkbox"/> |
| 2. かなりあった | 4. まったくなかった | |

次の質問は〔問11〕で、1か2を選んだ方だけ、お答え下さい

→問12 役に立ったことは、どれですか。(3つ選んでください)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 必要な知識・技術が高められた | <input type="checkbox"/> |
| 2. 生活をよくするために役立った | |
| 3. 学習の楽しみがわかった | |
| 4. 必要な資格を得られた | |
| 5. 働くほかに生きがいをもてた | |
| 6. 地域の活動に参加できるようになった | |
| 7. 新しい友達を得て人間関係が広がった | |
| 8. その他 () | |

問13 あなたは、学習・文化・スポーツ・レクリエーションなどの学習活動に、どのくらいまで自己負担してもよいと思いますか。

1ヶ月平均… 約 円

問14 自分が自由に使える時間(通勤・通学・家事・食事・睡眠などを除いた、自分が好きに使える時間)はどれくらいありますか。

a. 平日の場合… 約 時間

b. 休日の場合… 約 時間

問15 あなたは、今後のライフステージ(生活設計)の中で次のどの項目が一層重要になるとお考えですか。(1つ選んで下さい)

- | | | | |
|---------|---------|----------|--------------------------|
| 1. 家庭教育 | 3. 青年教育 | 5. 高齢者教育 | <input type="checkbox"/> |
| 2. 少年教育 | 4. 成人教育 | | |

問16 あなたは、今後学習するとすれば、どのような方法で学習したいとお考えですか。(3つまで選んで下さい)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. 公民館を利用して | <input type="checkbox"/> |
| 2. 図書館を利用して | |
| 3. 博物館を利用して | |
| 4. PTA・婦人会・老人クラブなどの事業に参加して | |
| 5. 民間のカルチャーセンターの事業に参加して | |
| 6. 農協・商工会・労働団体などの事業に参加して | |
| 7. 職業訓練所・研究機関・大学などの事業に参加して | |
| 8. 通信教育で | |
| 9. テレビ・ラジオを利用して | |
| 10. 雑誌・新聞などの出版物を利用して | |
| 11. 私立学校(専修学校・各種学校を含む)の事業に参加して | |
| 12. 企業内の事業に参加して | |
| 13. 仲間・サークルで | |
| 14. 地域組織による講座で | |
| 15. 地域の学校の公開事業に参加して | |
| 16. 放送大学で | |
| 17. その他 () | |

問17 あなたが学習や活動をできない理由は何ですか。(3つまで選んで下さい)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 仕事・家事・育児などのため、時間がとれない | <input type="checkbox"/> |
| 2. 身近に仲間がいない | |
| 3. 経費が多くかかる | |
| 4. 家庭や職場の人の理解や協力が得られない | |
| 5. どんな学習や活動があるかわからない | |
| 6. 適切な講師や指導者がいない | |
| 7. 身近に利用できる施設が少ない | |
| 8. 希望する内容にあった学習や活動の機会が少ない | |
| 9. 学習や活動をする必要を感じない | |
| 10. 体の具合が悪い | |
| 11. その他 () | |

問18 あなたは、今後、学習活動をするとしたらどのようなことをやってみたいと思いますか。次の①～⑨の分野から選んでください。(3つまで選んで下さい)

- | | |
|---|--------------------------|
| ① 教育・福祉
子供会活動に関する事
しつけ・子どもの心理など育児や子どもの教育に関する事
手話・点字・介護などボランティアに関する事 | <input type="checkbox"/> |
| ② 教養
人権・時事など社会に関する事
歴史・地理・文学など一般教養に関する事
科学・技術の知識や自然保護・公害などに関する事
文学創作(俳句・詩・小説・自分史など)や鑑賞に関する事 | |
| ③ 芸術・芸能
音楽などに関する事
絵画・書などに関する事
演劇などに関する事 | |
| ④ 産業・技術
職業にかかわる知識や技術の習得に関する事
資格取得に関する事(保母・理学療法士・美容師等) | |
| ⑤ 趣味・家庭生活
和裁・洋裁・編み物・手芸・お茶・お花など
園芸・盆栽・囲碁・将棋など
写真・ビデオなど
生活技術に関する事(インターネット・パソコン等) | |
| ⑥ 体育・スポーツ
スポーツ活動の実践
スポーツの普及、スポーツ大会の運営等に関する事 | |
| ⑦ 市民生活・国際理解
消費者問題、ゴミ問題などに関する事
国際交流、国際協力、国際政治、異民族の文化に関する事 | |
| ⑧ 健康
健康管理に関する事(食生活のあり方など)
体力づくりに関する事(ジョギング・エアロビクス・ジャズダンスなど) | |
| ⑨ その他 | |

問19 あなたの生涯学習を支援する「沖縄県生涯学習推進センター(仮称)」の設置についてどう思いますか。(同センターでは、いろいろな学習活動、学習情報の提供、講習会などが開かれます。)

- | | | | |
|----------|------------|---------|--------------------------|
| 1. 必要である | 2. どちらでもよい | 3. 必要ない | <input type="checkbox"/> |
|----------|------------|---------|--------------------------|

問20 前問で、「必要である」と答えた方にうかがいます。設置された場合、あなたはどれについて利用したいですか。(3つまで選んで下さい)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. インターネットで「学習情報」を収集したい。 | <input type="checkbox"/> |
| 2. 県内各地で行われる、いろいろな「講座」を受けてみたい。 | |
| 3. 「指導者養成講座」を受けたい。 | |
| 4. 「学習相談」をしたい。 | |
| 5. 社会教育に関する「シンポジウム」に参加してみたい。 | |
| 6. 社会教育に関する「講演」を聴いてみたい。 | |
| 7. いろいろな交流ができる「交流室」を利用したい。 | |

問21 あなたの学習成果の活用状況をお聞きします。番号を選んで下さい。(いくつでも選んでください)

- | | |
|--|--------------------------|
| 1. 特に活用していない | <input type="checkbox"/> |
| 2. 講座・教室・講演などの講師 | |
| 3. 同好のグループやサークルづくり、または参加 | |
| 4. 自主的な団体活動(国際交流・環境問題・費者問題等の社会的課題) | |
| 5. 学習ボランティア(学習相談・学習アシスト、青少年団体・グループの指導者等) | |
| 6. 上記以外のボランティア(福祉分野等) | |
| 7. 日常生活の向上(家庭生活の改善・健康管理等の向上) | |
| 8. 職業生活への活用(転職・資格取得・仕事の合理化等) | |
| 9. 上記以外の活用 | |
| 10. 学習成果の発表(発表会・展示会・発表誌等の発行) | |

問22 自分の地域、または学校などで、青少年育成活動に携わっていますか。

- | | | |
|-------|--------|--------------------------|
| 1. はい | 2. いいえ | <input type="checkbox"/> |
|-------|--------|--------------------------|

問23 問22で「1. はい」と答えた方にお尋ねします。どのような青少年育成活動に携わっていますか。(3つまで選んで下さい)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. PTA活動(例:親父の会、母親委員会等) | <input type="checkbox"/> |
| 2. 学校支援ボランティア活動(部活動のコーチ、学習支援等) | |
| 3. 地域子ども会活動(学事奨励会、クリスマス会等) | |
| 4. 地域少年スポーツ活動(少年野球、少年サッカー等) | |
| 5. 地域自治公民館活動(伝統芸能保存会、サークル等) | |
| 6. スポーツ少年団育成活動 | |
| 7. ボーイスカウト活動・ガールスカウト活動 | |
| 8. その他 () | |

問24 問22で「2. いいえ」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか。(3つまで選んで下さい)

- | | | |
|---------------|------------------------|--------------------------|
| 1. 時間がない | 2. どこで携われればよいかわからない | <input type="checkbox"/> |
| 3. 地域の人を知らない | 4. 持てる技術(資格)がない | |
| 5. 健康上の問題がある | 6. 仕事が忙しい | |
| 7. 趣味等の時間で忙しい | 8. 関わりをつなぐコーディネーターがいない | |
| 9. 手続きが面倒である | | |
| 10. その他 () | | |

自由記入(生涯学習に関するご提言などがありましたら、余白に記入して下さい。)

ご協力ありがとうございました。